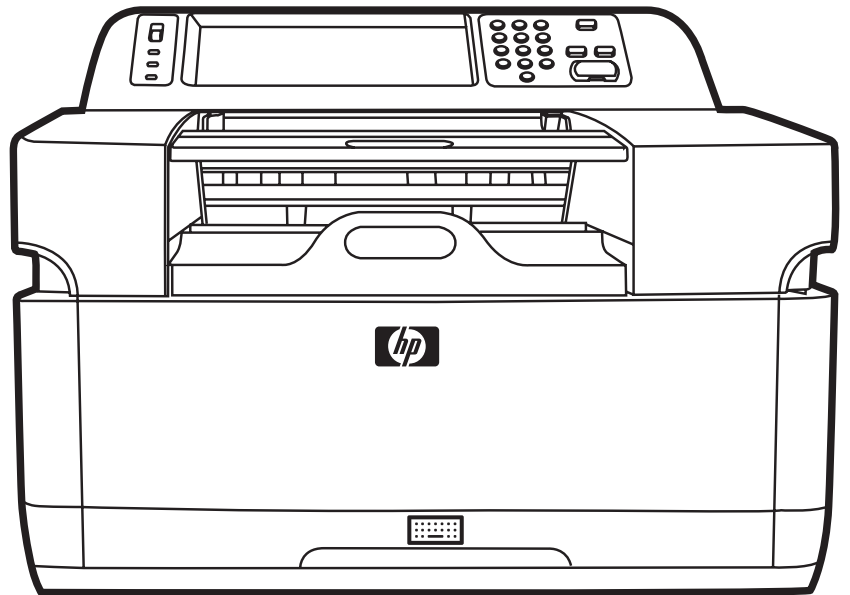


HP 9250C Digital Sender ユーザーガイド



HP 9250C Digital Sender

ユーザー ガイド



著作権情報

© 2007 Copyright Hewlett-Packard
Development Company, L.P.

事前の書面による許可なく複製、改変、交換することは、著作権法で許可されていない限り禁じられています。

本文書の内容は、事前の通知なく変更される可能性があります。

HP の製品およびサービスに対する唯一の保証は、当該製品またはサービスに付属の明示的な保証条項で規定されます。本文書のいかなる部分も、追加の保証を構成するとは見なされません。HP は、本文書に含まれる技術的または表記上の誤記や欠落について、一切の責任を負わないものとします。

パーツ番号: CB472-90968

Edition 1, 6/2007

商標表示

Linux は、Linus Torvalds の米国登録商標です。

Microsoft®、Windows®、および Windows NT® は、Microsoft Corporation の米国登録商標です。

目次

1 デバイスの基礎

デバイス情報	2
各種機能の詳細について	2
機能	3
性能	4
ADF 性能	4
デューティ サイクル	4
デバイス ソフトウェア	5
デジタル送信機ソフトウェア	5
デジタル送信に使用するネットワーク コンポーネント	6
用紙処理	7
デバイス部位	8
スペース要件	10

2 コントロール パネル

コントロール パネルの使用	12
コントロール パネルのレイアウト	12
[ホーム] 画面	13
タッチスクリーンのボタン	13
コントロール パネルのヘルプ システム	14
[管理] メニューの操作	15
[情報] メニュー	15
デフォルト ジョブ オプション メニュー	16
原稿のデフォルト オプション	16
イメージ調整	16
デフォルト電子メール オプション	17
デフォルトでフォルダに送信するオプション	17
[時刻/スケジュールリング] メニュー	19
[管理] メニュー	20
[初期セットアップ] メニュー	21
ネットワークおよび I/O	21
電子メール セットアップ	27
[送信設定] メニュー	27
[デバイス動作] メニュー	28
[トラブルシューティング] メニュー	29
[リセット] メニュー	29
サービス メニュー	30

3 接続

Novell NetWare サポート	32
ネットワークの設定	33
TCP/IPv4 パラメータの設定	33
IP アドレスの設定	33
サブネット マスクの設定	34
デフォルト ゲートウェイの設定	34
TCP/IPv6 パラメータの設定	35
HP Jetdirect EIO プリント サーバー	35

4 プリンタ機能の使用

メディアのセット	38
スキャナのガラス板にメディアをセットする	38
自動文書フィーダ (ADF) のセット	39
キーボードの使用	40
基本的な送信情報	41
ログイン	41
現在のジョブの設定の変更	41
送信のキャンセル	42
電子メールを送信するためのデバイスの設定	43
対応プロトコル	43
電子メール サーバーの設定	43
ゲートウェイの検出	44
デバイスのコントロール パネルから SMTP ゲートウェイの検索	44
電子メール プログラムから SMTP ゲートウェイを検索	44
電子メールの送信	45
[電子メール送信] 画面の使用	45
文書の送信	46
自動入力機能の使用	46
アドレス帳の使用	46
受信者リストの作成	46
ローカルのアドレス帳の使用	47
ローカルのアドレス帳に電子メール アドレスを追加する	47
ローカルのアドレス帳から電子メール アドレスを削除する	47
フォルダにスキャン	49
ワークフローの排紙先にスキャン	50
デジタル ファックスの送信	51

5 デバイスの管理と保守

[情報ページ] の使用	54
内蔵 Web サーバーの使用	55
ネットワーク接続を使用して、内蔵 Web サーバーを開く	55
内蔵 Web サーバーのセクション	55
HP Web Jetadmin ソフトウェアの使用	58
デジタル送信セキュリティの制御	59
ネットワーク認証	59
安全な電子メール	59
ソフトウェアへのアクセス制限	59
セキュリティ ロック	59

サプライ品とパーツの交換	60
マイラー シートの交換	60
ADF 保守キットの交換	60
デバイスのクリーニング	62
外装のクリーニング	62
ガラス面の清掃	62
タッチスクリーンの清掃	62
ADF 送出システムの清掃	62
ADF ローラーの清掃	63
ファームウェアのアップグレード	66
ファームウェアの現在のレベルを調べる	66
HP Web サイトから新しいファームウェアをダウンロードする	66
直接ネットワーク接続での FTP を使用したファームウェアのアップグレード	66
USB 接続を使用したデバイス ファームウェアのアップグレード	68
HP Web Jetadmin を使用したファームウェアのアップグレード	68
HP Jetdirect Inside ファームウェアのアップグレード	69
スキャナの校正	70

6 問題の解決

問題に関する情報源	72
コントロール パネルのメッセージ	73
コントロール パネルのメッセージのタイプ	73
コントロール パネルのメッセージの解除	73
紙詰まり	78
紙詰まりの防止	78
紙詰まりの解消	79
電子メールに関する問題の解決	80
電子メール サーバー (SMTP ゲートウェイ) アドレスの確認	80
LDAP ゲートウェイ アドレスの検証	80

付録 A サービスおよびサポート

Hewlett-Packard 社製品限定保証	81
カスタマ自己修理の保証サービス	82
Hewlett-Packard ソフトウェア限定保証事項	83
サポートおよびサービスの利用	84
HP 保守契約	85
翌日オンサイト サービス	85

付録 B 仕様

物理的仕様	88
電氣的仕様	88
消費電力仕様	88
環境条件	89
アコースティック エミッション	89

付録 C 規制に関する情報

FCC 規格	92
環境配慮型製品管理プログラム	93

環境の保護	93
オゾン放出	93
消費電力	93
プラスチック	93
材料の制限	93
EU (欧州連合) が定める一般家庭の使用済み機器の廃棄	94
化学物質安全データシート (MSDS)	94
詳細について	94
適合宣言	95
国/地域に特有の安全条項	96
Canadian DOC regulations (カナダ DOC 規格)	96
VCCI 規格 (日本)	96
EMI 規格 (韓国)	96
索引	97

1 デバイスの基礎

- デバイス情報
- 機能
- 性能
- デバイス ソフトウェア
- デジタル送信に使用するネットワーク コンポーネント
- 用紙処理
- デバイス部位
- スペース要件

デバイス情報

HP 9250C Digital Sender はネットワークに直接接続し、白黒またはカラー文書、描画、および写真を電子フォームに変換してから、いくつかの送信先に直接配布します。同梱されている HP Digital Sending Software (HP DSS) プログラムをインストールして、OCR (optical character recognition) を使用したワークフローへの送信などの高度なデジタル送信機能を使用することもできます。

デバイスのインストールは簡単で、ネットワークに接続し、デジタル送信機能を設定するだけです。デジタル送信機はネットワーク上のスタンドアロン ユニットとして機能し、管理のためのネットワーク特権は不要です。

各種機能の詳細について

以下の表に、利用可能なデジタル送信機能とその機能の詳細について示します。この表に表示されているすべての文書は、デバイスに付属のマニュアル CD に収められています。

機能	説明	参照ガイド
電子メールにスキャン	文書をスキャンし、任意の電子メール アドレスに送信します。	ユーザー ガイドまたは DSS サポート ガイド
フォルダにスキャン	文書をスキャンして、ネットワーク フォルダに送信します。複数の送信先フォルダを設定できます。	EWS ユーザー ガイド
電子メールおよびファックスのアドレス帳	電子メール受信者の名前と電子メール アドレス、またはファックス受信者の名前とファックス番号をデバイスのアドレス帳に入力します。この機能はファックス短縮ダイヤルリストの管理にも使用できます。	ユーザー ガイド (詳細については EWS ユーザー ガイド)
ユーザー PIN 認証	名前と暗証番号 (PIN) を入力して、認証されたユーザーのみがデバイスの特定の機能を使用できるようにします。	EWS ユーザー ガイド
LDAP アドレス情報	名前と電子メール アドレスを Lightweight Directory Access Protocol (LDAP) ディレクトリで検索するようにデバイスを設定します。この機能によって、電子メールへの送信ジョブのアドレス設定が簡単になります。	EWS ユーザー ガイドまたは DSS サポート ガイド
LDAP 認証	デバイスの特定の機能を使用する場合は、ユーザー認証を要求するようにデバイスを設定します。この機能は既存の LDAP インフラストラクチャに依存し、SSL (Secure Sockets Layer) を使用して LDAP をサポートするように設定できます。	EWS ユーザー ガイド
Kerberos 認証	デバイスの特定の機能を使用する場合は、ユーザー認証を要求するようにデバイスを設定します。この機能は、既存の Kerberos Realm インフラストラクチャに依存します。Microsoft Windows のドメイン環境は Kerberos をネイティブでサポートしていません。	EWS ユーザー ガイド
DSS LAN ファックス	デバイスを使用して、既存の LAN ファックス インフラストラクチャ経由でファックスジョブを転送します。	DSS サポート ガイド

機能	説明	参照ガイド
DSS - フォルダに送信	文書をスキャンして、ネットワーク フォルダに送信します。複数の送信先フォルダを設定できます。	DSS サポート ガイド
DSS ワークフロー	文書をスキャンし、スキャンされた文書の情報を記録するように、ユーザーに要求します。文書は別のアプリケーションに転送できるようになります。この機能は、OCR (Optical Character Recognition) を使用するように設定できます。	DSS サポート ガイド
ネゴシエートされた DSS Windows 認証	デバイスの特定の機能を使用する場合は、ユーザー認証を要求するようにデバイスを設定します。この機能は、既存の Microsoft Windows ドメイン インフラストラクチャに依存します。	DSS サポート ガイド
DSS LDAP 認証	デバイスの特定の機能を使用する場合は、ユーザー認証を要求するようにデバイスを設定します。この機能は既存の LDAP インフラストラクチャに依存します。	DSS サポート ガイド

機能

このデジタル送信機には以下の機能が備わっています。

- **デジタル送信** - スキャンされたファイルを電子メール アドレス、ファックス送信先、およびネットワーク フォルダに送信します。高度なデジタル送信機能が、デバイスに付属している HP Digital Sending Software (HP DSS) によって実行されます。
- **ADF** - リーガル サイズ ADF は 50 ページまで可能で、両面文書の両面スキャンのための両面印刷機能も内蔵しています。
- **インタラクティブ タッチスクリーン コントロール パネル** - 画面に表示される分かりやすいメニューとウィザードがデジタル送信タスクの実行に役立ちます。
- **フラットベッド スキャナ** - レターおよび A4 サイズ スキャナは白黒とカラーの両方について、用紙の端から 1mm (0.04 インチ) までスキャンが可能です。
- **メモリ** - デバイスには 256MB の RAM が標準搭載されています。
- **ハードディスク** - デバイスには、文書と設定を保存するために 40GB の内部ハード ドライブが搭載されています。
- **接続** - デバイスには、接続のために 10/100Base-T ポート、Jetdirect Inside を通じて HP Jetdirect Fast Ethernet ポート、および拡張 I/O (EIO) 増設スロットが備わっています。

性能

以下のセクションでデジタル送信機固有の性能統計を示します。

ADF 性能

以下の表は、デジタル送信機 ADF のイメージ/分 (ipm) 速度を示します。

モード	dpi	速度 (ipm)、A4	速度 (ipm)、レター
単純モノクロ モード	600 x 600	52	54
	600 x 300	53	55
単純カラー モード	600 x 600	29	31
	600 x 300	29	31
両面印刷モノクロ モード	600 x 600	24	25
	600 x 300	24	25
両面印刷カラー モード	600 x 600	18	18
	600 x 300	18	18

デューティ サイクル

- 最大デューティ サイクルは、スキャンされたイメージの合計が 60,000/月です。
- 使用量は 3,600 ページ/月です。

デバイス ソフトウェア

デジタル送信機ソフトウェア


OCR によるスキャンやワークフローへの送信などの高度なデジタル送信機機能を利用するために、デバイスに付属の CD-ROM に収められている HP Digital Sending Software Version 4 (HP DSS) をインストールできます。このソフトウェアはネットワーク サーバー上のサービスとして実行されます。各ユーザーのコンピュータにソフトウェアやドライバをインストールする必要はありません。

ソフトウェアのインストールと設定の手順については、マニュアル CD の *HP Digital Sending Software Support Guide* を参照してください。

最新のソフトウェアの更新版はインターネット www.hp.com/support/dss から入手できます。

デジタル送信に使用するネットワーク コンポーネント

以下の表に、デジタル送信に使用するネットワーク コンポーネントを示します。

コンポーネント	説明
Windows® 2000 Professional、Server、または Advanced Server、Windows XP Professional、または Windows Server 2003 Standard または Enterprise Server で実行されているネットワーク サーバー	サーバーには以下のコンポーネントが含まれています。 <ul style="list-style-type: none">● HP DSS● HP MFP DSS 設定ユーティリティ - HP DSS プログラムをインストールした後で、デジタル送信機能を設定して、監視するために使用します。● Windows 2000 ファックス サービス - Windows 2000 ファックス サービスがファックス送信の方法である場合のみに必要です。
ネットワーク	Fast Ethernet 100Base-TX または Ethernet 10Base-T
デジタル送信機または HP MFP デバイス	HP DSS サーバーは 1000 HP 9250C Digital Sender、HP 9200C Digital Sender、または同じネットワーク上の MFP デバイスをサポートできます。各デバイスを個別に設定して、複数またはすべてのデジタル送信オプションをサポートできます。  注記： HP DSS は HP 9100C または 8100C Digital Sender をサポートしません。
Web ブラウザ	ユーザーはネットワーク上の任意のコンピュータから Web ブラウザを使用して、HP Web Jetadmin またはデジタル送信機の内蔵 Web サーバーによってデジタル送信機を設定し、監視できます。
SMTP が有効な電子メール サーバー	このゲートウェイによって、電子メールおよびインターネット ファックス デジタル送信オプションを簡単に行うことができます。
LAN ファックス サーバー (要 DSS)	LAN ファックス サーバーは大量のファックス ジョブの送受信を主に処理するネットワーク デバイスです。HP DSS を使用して、LAN ファックス サーバーに送信ファックスを転送するようにデジタル送信機を設定できます。
LDAP サーバー	LDAP サーバーは受信者の名前と電子メール アドレスが記録されているディレクトリ サーバーで、LDAP (Lightweight Directory Access Protocol) をサポートしています。HP DSS は LDAP サーバーを使用して、デジタル送信機のアドレス帳のアドレスを入手します。
FTP サーバー	ファイル転送プロトコル (FTP) サーバーをデジタル送信機によってスキャンされた文書の送信先として使用することができます。
ドメイン コントローラ/Novell ディレクトリ サーバー (要 DSS)	ユーザー認証をサポートするためには、デジタル送信機はユーザーのログイン情報を検証するためにドメイン コントローラまたは Novell ディレクトリ サーバーにアクセスできなければなりません。
ネットワーク プリンタ (要 DSS)	ネットワーク プリンタはデジタル送信機によってスキャンされる文書の送信先として設定できます。
Kerberos ドメイン コントローラ	Kerberos ドメイン コントローラ (KDC) はネットワーク上で Kerberos 認証サービスを提供します。Windows ドメイン コントローラは Kerberos ドメイン コントローラとして機能するように設定できます。
Novell ネットワーク サポート (要 DSS)	Novell ファイル サーバーがネットワーク上で使用されている場合、HP DSS はファイルをネットワーク フォルダに書き込んで、Novell サーバー上に存在するネットワーク ファックス フォルダをサポートすることができます。Novell 固有の属性を HP DSS で設定するためには、Novell クライアントソフトウェアがネットワーク上にインストールされ、正しく設定されている必要があります。

用紙処理

HP 9250C Digital Sender は以下の標準用紙サイズをサポートしています。

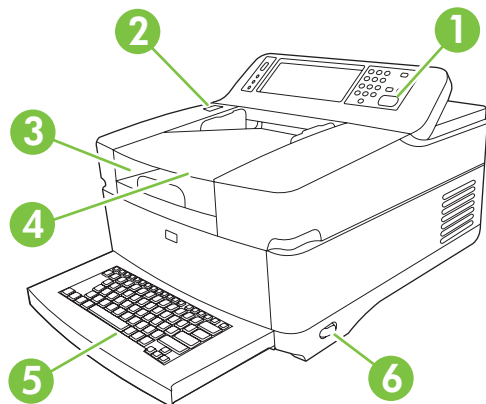
- **レター** : 215.9 x 279mm (8.5 x 11 インチ)
- **エグゼクティブ** : 190 x 254mm (7.5 x 10 インチ)
- **A4** : 210 x 297mm (8.3 x 11.7 インチ)
- **A5** : 148 x 210mm (5.83 x 8.27 インチ)
- **B5** : 176 x 250mm (6.9 x 9.8 インチ)
- **リーガル (ADF からのみ)** : 215.9 x 355.6 mm (8.5 x 10 インチ)

用紙の重量 : 60 ~ 120g/m2 (16 ~ 32 ポンド)

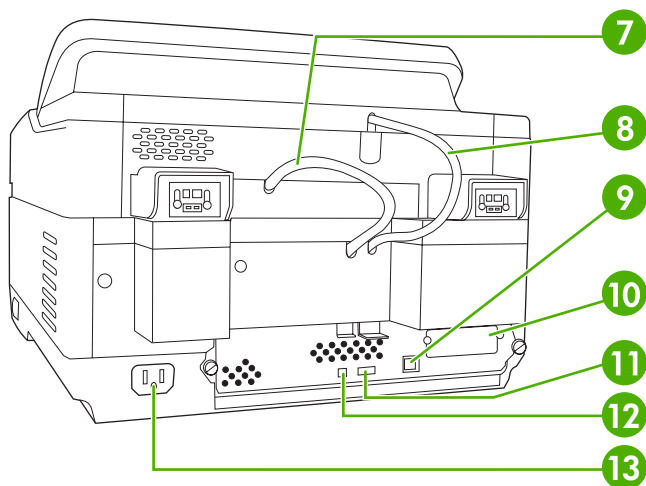
用紙は 50 枚、最高 5mm (0.2 インチ) まで ADF で重ねられます。

デバイス部位

デジタル送信機を使用する前に、その部位をよく理解しておく必要があります。

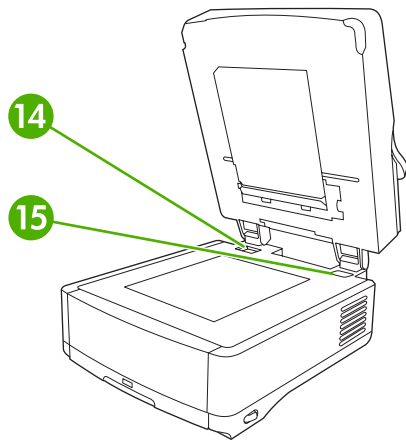


1	コントロールパネル
2	紙詰まりリリースボタン
3	排紙ビン
4	ADF給紙ビン
5	外部クワータ配列キーボード(引いて開く)
6	オン/オフスイッチ



7	ADFケーブル
8	コントロールパネルケーブル
9	10/100Base-Tネットワークポート
10	EIOスロット
11	USBホストポート

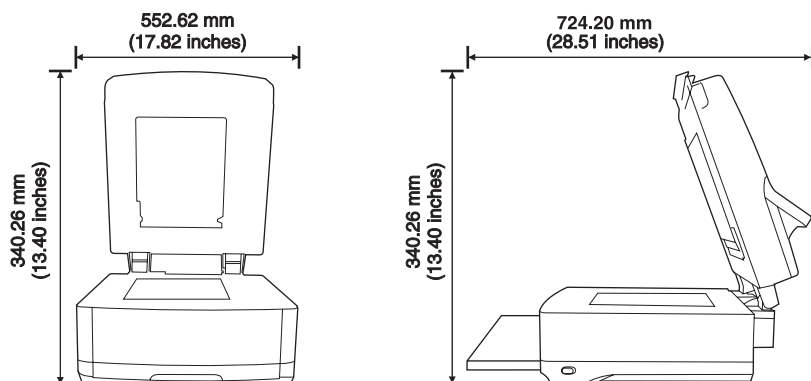
12	USB デバイス ポート
13	電源コネクタ



14	スキャナ ロック
15	シリアル番号

スペース要件

以下の表に、HP 9250C Digital Sender のスペース要件を示します。



注記： デジタル送信機の上部を完全に開くためには、デバイスの後ろに 90mm (3.5 インチ) の空きスペースが必要です。

2 コントロールパネル

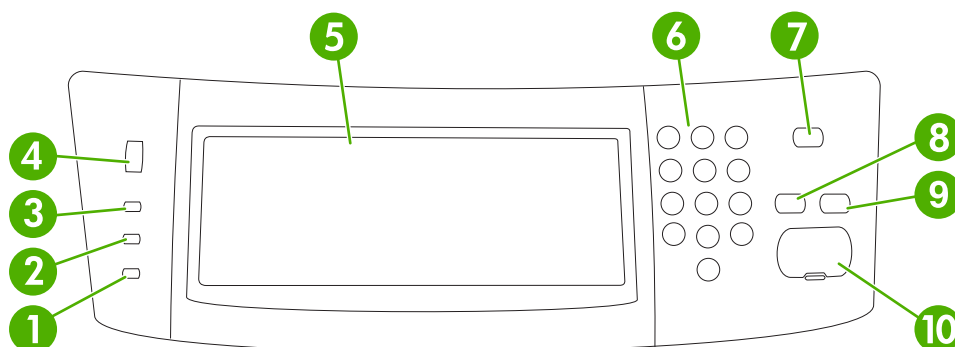
- [コントロールパネルの使用](#)
- [\[管理\]メニューの操作](#)
- [\[情報\]メニュー](#)
- [デフォルトジョブオプションメニュー](#)
- [\[時刻/スケジューリング\]メニュー](#)
- [\[管理\]メニュー](#)
- [\[初期セットアップ\]メニュー](#)
- [\[デバイス動作\]メニュー](#)
- [\[トラブルシューティング\]メニュー](#)
- [\[リセット\]メニュー](#)
- [サービスメニュー](#)

コントロールパネルの使用

コントロールパネルには、すべてのデバイス機能にアクセスできるVGAタッチスクリーンがあります。ボタンと数値キーパッドを使用して、ジョブとデバイスのステータスを制御します。LEDは全体のデバイスステータスを示します。

コントロールパネルのレイアウト

コントロールパネルには、タッチスクリーンのディスプレイ、ジョブ制御ボタン、数値キーパッド、3つの発光ダイオード(LED)のステータスランプが表示されます。



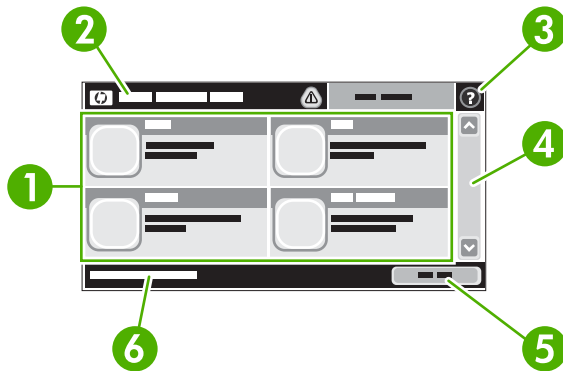
1	注意 ランプ	[注意] ランプは、タッチスクリーン上のエラーメッセージなど、デバイスでのユーザー操作が必要な状況であることを示します。
2	データ ランプ	[データ] ランプは、デバイスがデータを受信中であることを示します。
3	印字可 ランプ	[印字可] ランプは、デバイスがジョブの処理を開始する準備ができたことを示します。
4	輝度調整ダイヤル	タッチスクリーンの輝度を調整するには、このダイヤルを回します。
5	タッチスクリーン グラフィック ディスプレイ	このタッチスクリーンを使用して、デバイス機能を開いてセットアップします。
6	数字キーパッド	キーパッドを使用して、ファックス番号などの数字を入力します。
7	[スリープ時] ボタンとランプ	デバイスが長時間使用されない場合、自動的にスリープモードになります。デバイスをスリープモードにする場合、またはスリープモードを解除する場合、[スリープ時] ボタンを押します。ランプが点灯している場合、デバイスはスリープモードになっています。
8	[リセット] ボタン	ジョブ設定を工場出荷時のデフォルト値またはユーザー定義のデフォルト値にリセットします。
9	[停止] ボタン	アクティブなジョブを停止します。ジョブを停止すると、コントロールパネルには停止したジョブに対するオプションが表示されます (たとえば、電子メールジョブの処理中に [停止] を押すと、コントロールパネルにそのジョブをキャンセルするかまたは再開するかを確認するメッセージが表示されます)。
10	[スタート] ボタンとランプ	デジタル送信を開始するか、または中断されたジョブを再開します。ランプが点灯している場合、スキャンを開始する準備ができています。

[ホーム] 画面

[ホーム] 画面からデバイス機能にアクセスできます。また、デバイスの現在のステータスが表示されます。



注記： システム管理者の設定方法によって、[ホーム] 画面に表示される機能は変わります。



1	機能	システム管理者の設定方法によって、ここに表示される項目は変わります。たとえば次の項目が表示されます。 <ul style="list-style-type: none">• [ファックス]• [電子メール]• [セカンダリ電子メール]• [ネットワーク フォルダ]• [サプライ品のステータス]• [管理]
2	デバイスのステータス行	ステータス行には、全体的なデバイスのステータスに関する情報が表示されます。現在のステータスに応じて、さまざまなボタンが表示されます。ステータス行に表示できるボタンの説明については、 13 ページの「タッチスクリーンのボタン」 を参照してください。
3	[ヘルプ] ボタン	[ヘルプ] ボタンにタッチすると、内蔵のヘルプ システムが表示されます。
4	スクロール バー	使用できる機能リストをすべて確認するには、スクロール バーの上矢印または下矢印にタッチします。
5	[ネットワーク アドレス] ボタン	ネットワーク接続に関する情報を検索するには、 [ネットワーク アドレス] にタッチします。
6	日付と時刻	現在の日付と時刻がここに表示されます。システム管理者は、日時の表示に使用する書式 (12 時間形式または 24 時間形式など) を選択できます。

タッチスクリーンのボタン

タッチスクリーンのステータス行には、デバイスのステータスに関する情報が表示されます。ここにはさまざまなボタンが表示されます。次の表で各ボタンを説明します。



[ホーム] ボタン。 [ホーム] ボタンにタッチすると、どの画面からでも [ホーム] 画面に戻ります。



スタート ボタン。 使用している機能の動作を開始するには、スタート ボタンにタッチします。



注記： このボタン名は機能ごとに変わります。たとえば、[電子メール]機能では、ボタン名は [電子メール送信] となっています。



[停止] ボタン。 ファックス ジョブを処理している場合、[スタート] ボタンではなく、[停止] ボタンが表示されます。現在のジョブを中断するには、[停止] ボタンをタッチします。ジョブをキャンセルまたは再開するかの確認メッセージが表示されます。



[エラー] ボタン。 [エラー] ボタンは、処理を続行する前に注意が必要なエラーが発生したときに表示されます。[エラー] ボタンにタッチすると、エラーを説明するメッセージが表示されます。メッセージには問題を解決する指示も記載されます。



[警告] ボタン。 デバイスに問題が発生していても、処理が続行できるときに [警告] ボタンが表示されます。[警告] ボタンにタッチすると、問題を説明するメッセージが表示されます。メッセージには問題を解決する指示も記載されます。



[ヘルプ] ボタン。 [ヘルプ] ボタンにタッチすると、内蔵のヘルプ システムが表示されます。詳細については、[14 ページの「コントロールパネルのヘルプシステム」](#)を参照してください。

コントロールパネルのヘルプシステム

このデバイスには、各画面の使用方法を説明した内蔵のヘルプ システムがあります。ヘルプ システムを開くには、画面の右上隅にある [ヘルプ] ボタン (🔍) にタッチします。

一部の画面では、[ヘルプ] にタッチすると、特定のトピックを検索できるグローバルメニューが表示されることがあります。メニューのボタンにタッチして、メニュー構造を参照できます。

個々のジョブの設定が含まれた画面では、[ヘルプ] にタッチすると、その画面のオプションについて説明するトピックが表示されます。

エラーまたは警告が通知された場合、[エラー] ボタン (❗) または [警告] (⚠️) ボタンにタッチすると、問題を説明するメッセージが表示されます。また、問題を解決するための指示が記載されている場合もあります。

[管理] メニューの操作

[ホーム] 画面の **管理** をタッチしてメニュー構造を開きます。この機能を表示するには、[ホーム] 画面の下部にスクロールが必要な場合があります。

管理メニューには、いくつかのサブメニューがあり、画面の左側に表示されます。メニュー名にタッチすると、メニュー構造が展開されます。メニュー名の横にあるプラス記号 (+) は、サブメニューがあることを示します。前のレベルに戻るには、**後方** にタッチします。

[管理] メニューを終了するには、画面の左上隅にある [ホーム] ボタン (🏠) にタッチします。

メニューで使用できる各機能については、デバイスのヘルプで説明しています。ヘルプは、タッチスクリーンの右側にあるメニューの多くに使用できます。また、グローバルヘルプシステムを開くには、画面の右上隅にある [ヘルプ] ボタン (🔍) にタッチします。

以下の表に、各メニューの全体構造を示します。

[情報] メニュー

このメニューを使用して、デバイス内に保存されている情報ページを表示します。

表 2-1 [情報] メニュー

メニュー項目	サブメニュー項目	値	説明
[設定/ステータス ページ]	[設定ページ]	[表示] (ボタン)	現在のデバイス設定を表示する設定ページ
	[使用状況ページ]	[OK] (ボタン)	各用紙のタイプとサイズについて、スキャンされたページ数に関する情報が表示されます。

デフォルト ジョブ オプション メニュー

このメニューを使用して、各機能のデフォルトのジョブ オプションを定義します。ジョブを作成する際に、ユーザーがジョブ オプションを指定しなかった場合、デフォルト オプションが使用されます。

[デフォルト ジョブ オプション] メニューには、以下のサブメニューが含まれます。

- [原稿のデフォルト オプション]
- [イメージ調整]
- [デフォルト電子メール オプション]
- [デフォルトでフォルダに送信するオプション]

原稿のデフォルト オプション

メニュー項目	値	説明
[用紙サイズ]	リストから用紙サイズを選択します。	原稿のコピーまたはスキャンにもっとも頻繁に使用する用紙サイズを選択します。
[片面/両面]	[1] [2]	原稿のコピーまたはスキャンに、片面と両面のどちらをより頻繁に使用するかを選択します。
[方向]	[縦] [横]	スキャンに最もよく使用する用紙の向きを選択します。短い方の辺を上にする場合は [縦] を選択し、長い方の辺を上にする場合は [横] を選択します。
[テキスト/画像の最適化]	[手動調整] [テキスト] [写真]	この設定を使用して、特定の種類の原稿の出力を最適化します。テキスト、画像、またはその混合の出力を最適化できます。 [手動調整] を選択した場合、もっとも頻繁に使用されるテキストと画像の混合を指定できます。

イメージ調整

メニュー項目	値	説明
[濃さ]	範囲内で値を調整します。	設定を使用して、出力の濃淡を調節します。
[背景のクリーンアップ]	範囲内で値を調整します。	[背景のクリーンアップ] 設定を大きくすると、背景からぼやけたイメージが削除されたり、薄い背景色が削除されたりします。
[鮮明度]	範囲内で値を調整します。	[鮮明度] 設定を調整して、イメージを明確にしたり、和らげたりします。

デフォルト電子メール オプション

このメニューを使用して、デバイスから送信される電子メールのデフォルト オプションを設定します。

メニュー項目	値	説明
[文書ファイル タイプ]	[PDF] (デフォルト) [JPEG] [TIFF] [M-Tiff]	電子メールのファイル形式を選択します。
[出力品質]	[高] (大きなファイル) [中] (デフォルト) [低] (小さなファイル)	出力品質を高く設定すると、出力ファイルのサイズが大きくなります。
[解像度]	[75 DPI] [150 DPI] (デフォルト) [200 DPI] [300 DPI]	この機能を使用して、解像度を選択します。設定を低くすると、より小さいファイルが作成されます。
[カラー/黒]	[カラー スキャン] (デフォルト) [モノクロ スキャン]	電子メールをモノクロにするか、カラーにするかを指定します。
[TIFF バージョン]	[TIFF 6.0] (デフォルト) [TIFF (Post 6.0)]	この機能を使用して、スキャンしたファイルを保存するときに使用する TIFF のバージョンを指定します。

デフォルトでフォルダに送信するオプション

このメニューを使用して、コンピュータに送信されるスキャン ジョブのデフォルトのオプションを設定します。

メニュー項目	値	説明
[カラー/黒]	[カラー スキャン] [モノクロ スキャン] (デフォルト)	ファイルをモノクロにするか、カラーにするかを指定します。
[文書ファイル タイプ]	[PDF] (デフォルト) [M-TIFF] [TIFF] [JPEG]	ファイル形式を選択します。
[TIFF バージョン]	[TIFF 6.0] (デフォルト) [TIFF (6.0 以降)]	この機能を使用して、スキャンしたファイルを保存するときに使用する TIFF のバージョンを指定します。
[出力品質]	[高] (大きなファイル)	出力品質を高く設定すると、出力ファイルのサイズが大きくなります。

メニュー項目	値	説明
	[中 (デフォルト)]	
	[低 (小さなファイル)]	
[解像度]	[75 DPI]	この機能を使用して、解像度を選択します。設定を低くすると、より小さいファイルが作成されます。
	[150 DPI] (デフォルト)	
	[200 DPI]	
	[300 DPI]	
	[400 DPI]	
	[600 DPI]	

[時刻/スケジュールリング] メニュー

このメニューを使用して、時刻の設定オプションと、スリープモードへの移行と解除オプションを指定します。



注記：「(デフォルト)」と表示されている値は、工場出荷時のデフォルト値です。一部のメニュー項目にはデフォルト値がありません。

メニュー項目	サブメニュー項目	サブメニュー項目	値	説明
[日付/時刻]	[日付形式]		[YYYY/MMM/DD] (デフォルト)	この機能を使用して現在の日付と時刻を設定し、送信ファックスのタイムスタンプに使用する日付形式と時刻形式を設定します。
			[MMM/DD/YYYY]	
			[DD/MMM/YYYY]	
	[日付]	[月]		
		[日]		
		[年]		
	[時刻形式]		[12 時間 (AM/PM)] (デフォルト)	
			[24 時間]	
	[時刻]	[時間]		
		[分]		
		[午前]		
		[午後]		
[スリープ遅延]			[1 分]	この機能を使用して、スリープモードに入る前にデバイスが無操作状態にある時間を選択します。
			[20 分]	
			[30 分] (デフォルト)	
			[45 分]	
			[1 時間 (60 分)]	
			[90 分]	
			[2 時間]	
		[4 時間]		
[スリープ復帰時刻]	[月曜日]		[オフ] (デフォルト)	[カスタム] を選択して、月曜日から日曜日までのスリープ復帰時刻を設定します。このスケジュールに合わせてスリープモードが終了します。スリープのスケジュールを使用すると、デバイスを使用するための電力と準備時間を節約できるため、ウォームアップが完了するまで待つ必要はなくなります。
	[火曜日]		[カスタム]	
	[水曜日]			
	[木曜日]			
	[金曜日]			
	[土曜日]			
	[日曜日]			

[管理] メニュー

このメニューを使用して、グローバル デバイス管理オプションをセットアップします。



注記： 「(デフォルト)」と表示されている値は、工場出荷時のデフォルト値です。一部のメニュー項目にはデフォルト値がありません。

表 2-2 管理 メニュー

メニュー項目	値	説明
[スリープ モード]	[無効] [スリープ遅延を使用] (デフォルト)	デバイスのスリープ モード設定をカスタマイズするには、この機能を使用します。 [時刻/スケジューリング] メニューで指定した遅延時間後に、スリープモードに移行するようにデバイスを設定するには、[スリープ遅延を使用] を選択します。

[初期セットアップ] メニュー

[初期セットアップ] メニューには次のサブメニューがあります。

- [ネットワークおよび I/O] メニュー
- [電子メール セットアップ] メニュー
- [送信設定] メニュー



注記：「(デフォルト)」と表示されている値は、工場出荷時のデフォルト値です。一部のメニュー項目にはデフォルト値がありません。

ネットワークおよび I/O

メニュー項目	サブメニュー項目	値	説明
[I/O タイムアウト]		範囲内の値を選択します。出荷時のデフォルト設定は、15 秒です。	I/O タイムアウトとは、ジョブが失敗するまでの経過時間を指します。デバイスがジョブのために受信しているデータの流が中断された場合、デバイスはここで設定した時間まで待機し、それ以上待ってもデータが来ない場合は、ジョブが失敗したものとしてレポートします。
[内蔵 Jetdirect]			オプション リストについては 21 ページの表 2-3 「Jetdirect サブメニュー」を参照してください。
[EIO <X> Jetdirect]			

表 2-3 Jetdirect サブメニュー

メニュー項目	サブメニュー項目	サブメニュー項目	値と説明
[TCP/IP]	[有効]		[オフ] : TCP/IP プロトコルを無効にします。 [オン] (デフォルト) : TCP/IP プロトコルを有効にします。
	[ホスト名]		英数字で最大 32 文字。デバイスの識別に使用されます。この名前は HP Jetdirect の設定ページに表示されます。デフォルトのホスト名は NPlxxxxx です。この xxxxxx は LAN ハードウェア (MAC) アドレスの下 6 桁です。
	[IPv4 設定]	[設定方法]	TCP/IPv4 パラメータを HP Jetdirect プリントサーバーに設定する方法を指定します。 [Bootp] : BootP サーバーから自動設定する場合は、BootP (Bootstrap Protocol) を使用します。 [DHCP] : DHCPv4 サーバーから自動設定する場合は、DHCP (Dynamic Host Configuration Protocol) を使用します。この項目を使用し、DHCP リースが存在する場合、[DHCP の解放] メニューと [DHCP の更新] メニューを使用して DHCP リース オプションを設定できます。 [自動 IP] : 自動リンク - ローカル IPv4 アドレスを使用します。169.254.x.x という形式のアドレスが自動的に割り当てられます。

表 2-3 Jetdirect サブメニュー (続き)

メニュー項目	サブメニュー項目	サブメニュー項目	値と説明
			[手動] : 123.123.123.123 のような IPv4 アドレスなどの TCP/IPv4 パラメータを設定するには、[手動設定] メニューを使用します。
		[DHCP の解放]	[設定方法] が [DHCP] に設定され、プリント サーバーの DHCP リースが存在する場合、このメニューが表示されます。 [不可] (デフォルト) : 現在の DHCP リースが保存されます。 [はい] : 現在の DHCP リースとリースされた IP アドレスが解放されます。
		[DHCP の更新]	[設定方法] が [DHCP] に設定され、プリント サーバーの DHCP リースが存在する場合、このメニューが表示されます。 [不可] (デフォルト) : プリント サーバーからは DHCP リースの更新は要求されません。 [はい] : プリント サーバーから、現在の DHCP リースの更新が要求されます。
		[手動設定]	([設定方法] が [手動] に設定されている場合にのみ使用できます) デバイスのコントロールパネルからパラメータを直接設定します。 [IP アドレス] : デバイス固有の IP アドレス (n.n.n.n)。この n の値は 0 ~ 255 です。 [サブネット マスク] : デバイスのサブネット マスク (m.m.m.m)。この m の値は 0 ~ 255 です。 [Syslog サーバ] : syslog メッセージの受信と記録に使用される syslog サーバーの IP アドレス。 [デフォルト ゲートウェイ] : 他のネットワークとの通信に使用されるゲートウェイまたはルーターの IP アドレス。 [アイドル タイムアウト] : TCP プリント データ接続がアイドルになってから閉じられるまでの期間 (秒)。デフォルトは 270 秒。0 を指定するとタイムアウトしなくなります。
		[デフォルトの IP]	強制的な TCP/IP の再設定時に、プリント サーバーがネットワークから IP アドレスを取得できない場合のデフォルトの IP アドレスを指定します (たとえば、手動で BootP または DHCP を使用する設定にした場合)。 [自動 IP] : リンク - ローカル IP アドレス 169.254.x.x が設定されます。 [旧] : 以前の HP Jetdirect デバイスに合わせて、アドレス 192.0.0.192 が設定されます。
		[プライマリ DNS]	プライマリ DNS サーバーの IP アドレス (n.n.n.n) を指定します。
		[セカンダリ DNS]	セカンダリ DNS サーバーの IP アドレス (n.n.n.n) を指定します。

表 2-3 Jetdirect サブメニュー (続き)

メニュー項目	サブメニュー項目	サブメニュー項目	値と説明
	[IPv6 設定]	[有効]	<p>プリントサーバーで IPv6 操作を有効または無効にするには、この項目を使用します。</p> <p>[オフ] (デフォルト) : IPv6 が無効になります。</p> <p>[オン] : IPv6 が有効になります。</p>
		[アドレス]	<p>手動で IPv6 アドレスを設定するにはこの項目を使用します。</p> <p>[手動設定] : TCP/IPv6 アドレスを有効にし、123.123.123.123 のフォーマットで、手動で設定するには、[手動設定] メニューを使用します。</p>
		[DHCPv6 ポリシー]	<p>[指定されたルーター] : プリントサーバーが使用するステートフルな自動設定方法は、ルーターで決定されます。ルーターは、プリントサーバーが DHCPv6 サーバーからアドレス、設定情報、またはその両方のいずれを取得するかを指定します。</p> <p>[ルーターが使用できません] : ルーターが使用できない場合、プリントサーバーは DHCPv6 サーバーからステートフル設定を取得する必要があります。</p> <p>[常時] : ルーターが使用できるかどうかにかかわらず、プリントサーバーは DHCPv6 サーバーからステートフル設定を常に取得します。</p>
		[プライマリ DNS]	<p>プリントサーバーが使用するプライマリ DNS サーバーの IPv6 アドレスを指定するには、この項目を使用します。</p>
		[手動設定]	<p>プリントサーバーに手動で IPv6 アドレスを設定するには、この項目を使用します。</p> <p>[有効] : 手動の設定を有効にするには、この項目を選択して、[オン] を選択します。手動の設定を無効にするには、[オフ] を選択します。</p> <p>[アドレス] : 32 桁の 16 進数の IPv6 ノードアドレス (コロンありの 16 進構文を使用します) を入力するには、この項目を使用します。</p>
	[プロキシサーバ]		<p>デバイスの内蔵アプリケーションから使用するプロキシサーバーを指定します。通常、プリントサーバーはインターネットにアクセスするネットワーククライアントが使用します。プリントサーバーには Web ページがキャッシュされ、クライアントに対して、ある程度のインターネットセキュリティを提供しています。</p> <p>プリントサーバーを指定するには、IPv4 アドレスまたは完全修飾ドメイン名を入力します。名前の長さは 255 オクテットまでです。</p> <p>一部のネットワークでは、ISP に問い合わせ、プリントサーバーアドレスを入手する必要がある場合があります。</p>
	[プロキシサーバのポート]		<p>クライアントのプリントサーバーが使用するポート番号を入力します。このポート番号は、ネットワーク上のプロキシ処理用に予約するポートです。値は 0 ~ 65535 です。</p>

表 2-3 Jetdirect サブメニュー (続き)


メニュー項目	サブメニュー項目	サブメニュー項目	値と説明
[診断]	[内部テスト]		<p>複数のテストを使って、ネットワーク ハードウェアや TCP/IP ネットワーク接続の問題を診断します。</p> <p>内部テストを使用すると、ネットワーク エラーがデバイスの内部か外部かを特定するときに役立ちます。内部テストを使用して、プリント サーバーのハードウェアと通信経路を確認します。テストを選択して有効にし、実行時間を設定した後は、[実行] を選択してテストを開始します。</p> <p>実行時間によっては、デバイスの電源を切るか、エラーが発生して診断ページが表示されるまで、選択したテストは継続的に実行されます。</p>
		[LAN HW テスト]	<p> 注意： この内部テストを実行すると、TCP/IP 設定は消去されます。</p> <p>このテストによって、内部ループバック テストが実行されます。内部ループバック テストでは、内部ネットワーク ハードウェア上でのみパケットが送受信されません。ネットワークで外部の伝送はありません。</p> <p>このテストを使用するには、[はい] を選択します。このテストを使用しない場合は [不可] を選択します。</p>
		[HTTP テスト]	<p>このテストでは、定義済みページをデバイスから取得して HTTP の操作が確認され、内蔵 Web サーバーがテストされます。</p> <p>このテストを使用するには、[はい] を選択します。このテストを使用しない場合は [不可] を選択します。</p>
		[SNMP テスト]	<p>このテストでは、デバイス上の定義済み SNMP オブジェクトにアクセスすることで、SNMP 通信の操作が確認されます。</p> <p>このテストを使用するには、[はい] を選択します。このテストを使用しない場合は [不可] を選択します。</p>
		[すべてのテストを選択]	<p>使用できる内部テストをすべて選択するには、この項目を使用します。</p> <p>すべてのテストを選択するには、[はい] を選択します。個々のテストを選択するには、[不可] を選択します。</p>
		[データ経路テスト]	<p>このテストを使用すると、HP PostScript Level 3 エミュレーション デバイスに関するデータ経路と破損の問題を特定するときに役立ちます。定義済み PS ファイルがデバイスに送信されます。</p> <p>このテストを使用するには、[はい] を選択します。このテストを使用しない場合は [不可] を選択します。</p>
		[実行時間 [時]]	<p>内部テストを実行する期間 (時間単位) を指定するには、この項目を使用します。1 ~ 60 時間の値を選択できます。ゼロ (0) を選択すると、エラーが発生するかデバイスの電源を切るまで、テストは永続的に実行されます。</p>
		[実行]	<p>[不可]* : 選択したテストを開始しません。</p> <p>[はい] : 選択したテストを開始します。</p>

表 2-3 Jetdirect サブメニュー (続き)

メニュー項目	サブメニュー項目	サブメニュー項目	値と説明
	[Ping テスト]		このテストは、ネットワーク通信を確認するときに使用されます。このテストで、リンクレベルのパケットがリモート ネットワーク ホストに送信され、適切な応答が待機されます。Ping テストを実行するには、次の項目を設定します。
		[排紙先タイプ]	対象デバイスが IPv4 または IPv6 ノードかを指定します。
		[排紙先 IP]	[IPv4] : IPv4 アドレスを入力します。 [IPv6] : IPv6 アドレスを入力します。
		[パケット サイズ]	リモート ホストに送信する各パケットのサイズをバイト単位で指定します。最小値は 64 (デフォルト)、最大値は 2048 です。
		[タイムアウト]	リモート ホストからの応答を待機する期間を秒単位で指定します。デフォルトは 1 で最大値は 100 です。
		[ページ カウント]	このテストで送信する Ping テスト パケット数を指定します。1 ~ 100 時間の値を選択します。テストを継続的に実行するように設定するには、0 を選択します。
		[結果の表示]	Ping テストが継続的な操作として設定されなかった場合、テスト結果を表示できます。[はい] を選択して、結果を表示します。[不可] (デフォルト) を選択すると、結果は表示されません。
		[実行]	Ping テストを開始するかどうかを指定します。Ping テストを実行するには [はい] を選択し、実行しない場合は [不可] を選択します。

表 2-3 Jetdirect サブメニュー (続き)

メニュー項目	サブメニュー項目	サブメニュー項目	値と説明
	[Ping の結果]		Ping テストのステータスと結果をコントロールパネルのディスプレイで表示するには、この項目を使用します。次の項目を選択できます。
		[送信したパケット]	最新のテストが開始された以降、または終了した以降に、リモートホストに送信されたパケット数 (0 ~ 65535) を表示します。
		[受信したパケット]	最新のテストが開始された以降、または終了した以降に、リモートホストから受信したパケット数 (0 ~ 65535) を表示します。
		[消失率]	最新のテストが開始された以降、または終了した以降に、リモートホストから応答がなかった Ping テストパケット送信の割合を表示します。
		[RTT 最小]	パケットの伝送と応答について、検出された RoundTrip-Time (RTT) の最小値 (0 ~ 4096 ミリ秒) を表示します。
		[RTT 最大]	パケットの伝送と応答について、検出された RoundTrip-Time (RTT) の最大値 (0 ~ 4096 ミリ秒) を表示します。
		[RTT 平均]	パケットの伝送と応答について、RoundTrip-Time (RTT) の平均値 (0 ~ 4096 ミリ秒) を表示します。
		[Ping が進行中]	Ping テストが進行中かどうかを表示します。[はい] はテストが進行中であることを示し、[不可] はテストが完了したか実行されていないことを示します。
		[更新]	Ping テスト結果を表示すると、この項目は最新の Ping テストデータに更新されます。データを更新するにははい、既存のデータを保守するには不可を選択します。ただし、メニューがタイムアウトするか、手動でメインメニューに戻すと、自動的に更新されます。
[リンク速度]			<p>プリントサーバーのリンク速度と通信モードはネットワークに合わせる必要があります。使用できる設定は、デバイスとインストール済みプリントサーバーによって変わります。次のリンク設定のいずれかを選択します。</p> <p> 注意： リンク設定を変更する場合、プリントサーバーとネットワークデバイスのネットワーク設定が失われる可能性があります。</p> <p>[自動] (デフォルト)：プリントサーバーは、自動ネゴシエーション機能を使用して、許可されている中で最高のリンク速度と通信モードで設定します。自動ネゴシエーションが失敗すると、検出されたハブ/スイッチポートの検出済みリンク速度に応じて、100TX ハーフまたは 10TX ハーフが設定されます (1000T 半二重の選択には対応していません)。</p> <p>[10T ハーフ]：10 Mbps、半二重操作。</p> <p>[10T フル]：10 Mbps、全二重操作。</p> <p>[100TX ハーフ]：100 Mbps、半二重操作。</p> <p>[100TX フル]：100 Mbps、全二重操作。</p>

表 2-3 Jetdirect サブメニュー (続き)

メニュー項目	サブメニュー項目	サブメニュー項目	値と説明
			[100TX 自動]: 自動ネゴシエーションの最高リンク速度を 100 Mbps に制限します。
			[1000TX フル]: 1000 Mbps、全二重操作。

電子メール セットアップ

このメニューを使用して、電子メール機能を有効にし、基本的な電子メール設定を行います。



注記: 詳細な電子メール設定を行うには、内蔵 Web サーバーを使用します。詳細については、デバイス CD の『Embedded Web Server Guide』を参照してください。

メニュー項目	値	説明
[アドレス確認]	[オン] (デフォルト) [オフ]	このオプションを使用すると、電子メール アドレスを入力したときに電子メール アドレスの構文がチェックされます。有効な電子メール アドレスには、「@」記号と「.」が必要です。
[送信ゲートウェイのテスト]		デバイスが電子メールの送信に使用できる SMTP ゲートウェイのネットワークを検索します。
[SMTP ゲートウェイ]	値を入力します。	デバイスから電子メールを送信するときに使用される電子メール サーバー (SMTP ゲートウェイ) の IP アドレスを指定します。
[送信ゲートウェイのテスト]		SMTP ゲートウェイが機能するかどうかを確認するために、構成された SMTP ゲートウェイをテストします。

[送信設定] メニュー

メニュー項目	値	説明
[MFP の複製]	値を入力します (IP アドレス)。	デバイス間でローカルの送信設定をコピーします。
[新規 DSS への転送を許可]	[オフ] [オン]	この機能を使用すると、ある HP デジタル送信ソフトウェア (DSS) サーバーから別のサーバーへデバイスの転送が可能になります。 HP DSS は、ファックス送信、電子メール送信、スキャン済み文書のネットワーク フォルダへの送信など、デジタル送信タスクを処理するソフトウェア パッケージです。
[デジタル送信サービスの使用を許可]	[オフ] [オン]	この機能を使用すると、HP DSS サーバーと共に使用するデバイスを設定できます。

[デバイス動作] メニュー



注記：「(デフォルト)」と表示されている値は、出荷時の値です。デフォルトが設定されていないメニュー項目もあります。

メニュー項目	サブメニュー項目	値	説明
[言語]		リストから言語を選択します。	この機能を使用して、コントロールパネルのメッセージに使用する別の言語を選択します。新しい言語を選択すると、キーボードの配列が変わることもあります。
[キーボード レイアウト]		リストからキーボード設定を選択します。	この機能を使用して、キーボードのレイアウトを選択します。
[キー打鍵音]		[オン] (デフォルト) [オフ]	この機能を使用して、コントロールパネルで画面を押したり、ボタンを押したときに音を出すかどうかを指定します。
[アイドル状態のタイムアウト]		10 ~ 300 秒の範囲の値を入力します。出荷時のデフォルト設定は、60 秒です。	この機能を使用して、コントロールパネルで何らかの操作が行われてから、デバイスがデフォルト設定にリセットされるまでの時間 (タイムアウト時間) を指定します。
[警告/エラー動作]	[解除可能な警告]	[オン] [ジョブ] (デフォルト)	この機能を使用して、コントロールパネルに解除可能な警告が表示されている時間を設定します。
	[継続可能なイベント]	[自動継続 (10 秒)] (デフォルト) [[OK] をタッチして続行]	このオプションを使用して、デバイスで特定のエラーが起きた場合のデバイスの動作を設定します。

[トラブルシューティング] メニュー



注記：「(デフォルト)」と表示されている値は、出荷時の値です。デフォルトが設定されていないメニュー項目もあります。

メニュー項目	サブメニュー項目	値	説明
[イベント ログ]		[表示] (ボタン)	この機能を使用して、エラーや校正などのデバイス イベントを表示します。
[スキャナの校正]		[校正] (ボタン)	この機能を使用して、ADF およびフラットベッド スキャン用のスキャナ イメージ システム (キャリッジ ヘッド) のオフセットを補正します。 スキャン対象文書の適切な部分がキャプチャされない場合、スキャナの較正が必要なことがあります。
[スキャナ テスト]	[下側ランプ] [センサ] [ADF 給紙モーター] [ADF 給紙逆回転] [フラットベッド モーター] [ADF 読み取りモーター逆回転] [ADF 二重ソレノイド] [ADF LED インジケータ]		サービス技術者はこのサブメニューを使用して、デバイス スキャナに問題があると考えられるときに診断を行います。
[コントロール パネル]	[LED] [ディスプレイ] [ボタン] [タッチスクリーン]		この機能を使用して、コントロール パネルのコンポーネントが正しく機能していることを確認します。

[リセット] メニュー

メニュー項目	値	説明
[ローカルのアドレス帳をクリア]	[クリア] (ボタン)	この機能を使用して、デバイスに保存されているアドレス帳からすべてのアドレスを消去します。
[出荷時の設定に戻す]	[復元] (ボタン)	この機能を使用して、すべてのデバイス設定を出荷時のデフォルトに戻します。
[サプライ品のリセット]	[新規文書フィーダ キット] (はい/いいえ)	この機能を使用して、新しい文書フィーダ キットを取り付けたことをデバイスに通知します。

サービス メニュー

サービス メニューはロックされており、アクセスするには PIN を入力する必要があります。このメニューは、正規サービス担当者が使用することを前提にしています。

3 接続

- [Novell NetWare サポート](#)
- [ネットワークの設定](#)



注記： デジタル送信に必要なネットワーク コンポーネントについては、[6 ページの「デジタル送信に使用するネットワーク コンポーネント」](#)を参照してください。

Novell NetWare サポート

ネットワーク上で Novell ファイル サーバーが使用されている場合、HP DSS はファイルをネットワーク フォルダに書き込んで、Novell サーバーに存在するネットワーク ファックス フォルダをサポートできます。HP DSS で Novell 固有の属性を構成できるようにするには、Novell クライアント ソフトウェアがネットワークにインストールされていて、正しく構成されている必要があります。

Novell NetWare 認証および Novell デジタル送信先をサポートするために、HP DSS には以下のコンポーネントが必要です。

- Novell NetWare サーバー上で実行される Novell NetWare バージョン 3.12、3.2、4.11、4.2、5、または 6
および
- HP DSS を実行する Windows コンピュータにインストールされている Novell NetWare Client バージョン 4.6 以降

ネットワークの設定

場合によっては、デバイスのネットワーク パラメータを設定する必要があります。パラメータは次の場所で設定できます。

- インストール ソフトウェア
- デバイスのコントロール パネル
- 内蔵 Web サーバー
- 管理用ソフトウェア (HP Web Jetadmin または HP LaserJet Utility for Macintosh)



注記： 内蔵 Web サーバーの使用についての詳細は、デバイス CD の内蔵 Web サーバー ガイドを参照してください。

サポートされているネットワークおよびネットワーク構成ツールについての詳細は、『*HP Jetdirect Print Server Administrator's Guide*』を参照してください。このガイドは、HP Jetdirect プリント サーバーがインストールされているデバイスに付属しています。

TCP/IPv4 パラメータの設定

ご使用のネットワークが DHCP、BOOTP、RARP、またはその他の方法で自動 IP アドレス指定を行わない場合、ネットワークのスキャンを行うには以下のパラメータを手動で入力する必要があります。

- IP アドレス (4 バイト) (192.168.1.1 など)
- サブネット マスク (4 バイト)
- デフォルト ゲートウェイ (4 バイト)

IP アドレスの設定

デバイスの現在の IP アドレスを確認するには、コントロール パネルのホーム画面で **[ネットワーク アドレス]** を選択します。

次の手順で IP アドレスを手動で変更します。

1. スクロールして **[管理]** を選択します。
2. スクロールして **[初期セットアップ]** を選択します。
3. **[ネットワークおよび I/O]** を選択します。
4. **[内蔵 Jetdirect]** を選択します。
5. **[TCP/IP]** を選択します。
6. **[IPv4 設定]** を選択します。
7. **[設定方法]** を選択します。
8. **[手動]** を選択します。
9. **[保存]** を選択します。
10. **[手動設定]** を選択します。

11. [IP アドレス] を選択します。
12. [IP アドレス] テキスト ボックスを押します。
13. タッチスクリーンのキーパッドを使用して、IP アドレスを入力します。
14. [OK] を選択します。
15. [保存] を選択します。

サブネット マスクの設定

1. スクロールして [管理] を選択します。
2. スクロールして [初期セットアップ] を選択します。
3. [ネットワークおよび I/O] を選択します。
4. [内蔵 Jetdirect] を選択します。
5. [TCP/IP] を選択します。
6. [IPv4 設定] を選択します。
7. [設定方法] を選択します。
8. [手動] を選択します。
9. [保存] を選択します。
10. [手動設定] を選択します。
11. [サブネット マスク] を選択します。
12. [サブネット マスク] テキスト ボックスを押します。
13. タッチスクリーンのキーパッドを使用して、サブネット マスクを入力します。
14. [OK] を選択します。
15. [保存] を選択します。

デフォルト ゲートウェイの設定

1. スクロールして [管理] を選択します。
2. スクロールして [初期セットアップ] を選択します。
3. [ネットワークおよび I/O] を選択します。
4. [内蔵 Jetdirect] を選択します。
5. [TCP/IP] を選択します。
6. [IPv4 設定] を選択します。
7. [設定方法] を選択します。
8. [手動] を選択します。
9. [保存] を選択します。

10. [手動設定] を選択します。
11. [デフォルト ゲートウェイ] を選択します。
12. [デフォルト ゲートウェイ] テキスト ボックスを押します。
13. タッチスクリーンのキーパッドを使用して、デフォルト ゲートウェイを入力します。
14. [OK] を選択します。
15. [保存] を選択します。

TCP/IPv6 パラメータの設定

このデジタル送信機には、IPv6 機能が備わっていますが制限があります。JetDirect Inside または EIO JetDirect カードが IPv6 ネットワークに接続可能で、デバイスは WebJet Admin および内蔵 Web サーバーを使用して表示および構成が可能です。IPv6 を使用してデジタル送信を行う機能は現在ありません。デジタル送信機能は IPv4 のみで可能です。TCP/IPv6 ネットワーク用にデバイスを設定する方法については、『*HP Jetdirect Print Server Administrator's Guide*』を参照してください。

HP Jetdirect EIO プリント サーバー

HP Jetdirect プリント サーバー (ネットワーク カード) は EIO スロットに取り付けることができます。このカードは複数のネットワーク プロトコルおよびオペレーティング システムに対応します。HP Jetdirect プリント サーバーを使用すると、どんな場所でもネットワークにデバイスを直接接続してネットワーク管理を簡単に行うことができます。HP Jetdirect プリント サーバーは SNMP (Simple Network Management Protocol) にも対応するので、HP Web Jetadmin ソフトウェアを使用してリモートでデバイス管理やトラブルの解決を行うことができます。



注記： コントロールパネル、デバイスのインストール ソフトウェア、または HP Web Jetadmin ソフトウェアを使用してカードを構成します。詳細については、HP Jetdirect プリント サーバーのマニュアルを参照してください。

4 プリンタ機能の使用

ここでは、一般的なデジタル送信タスクを実行する方法について説明します。

- [メディアのセット](#)
- [キーボードの使用](#)
- [基本的な送信情報](#)
- [電子メールを送信するためのデバイスの設定](#)
- [電子メールの送信](#)
- [フォルダにスキャン](#)
- [ワークフローの排紙先にスキャン](#)
- [デジタルファックスの送信](#)

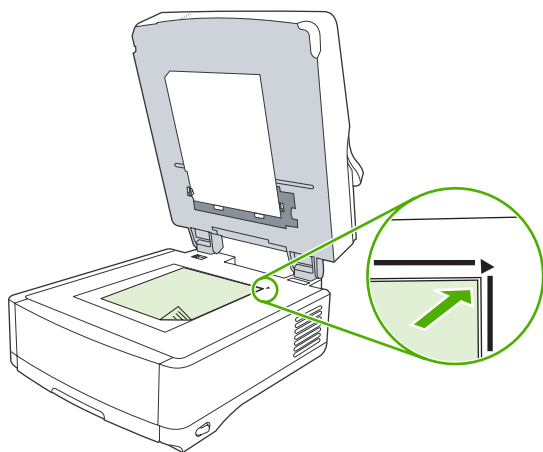
メディアのセット

スキャンする用紙をスキヤナのガラス面または ADF 上にセットできます。

スキヤナのガラス板にメディアをセットする

小さい軽量 (60 g/m² または 16 lb 未満) の原稿や、レシート、新聞の切り抜き、写真、古い文書、破損した文書などの変則的なサイズの原稿をスキャンする場合は、スキヤナのガラス面を使用します。

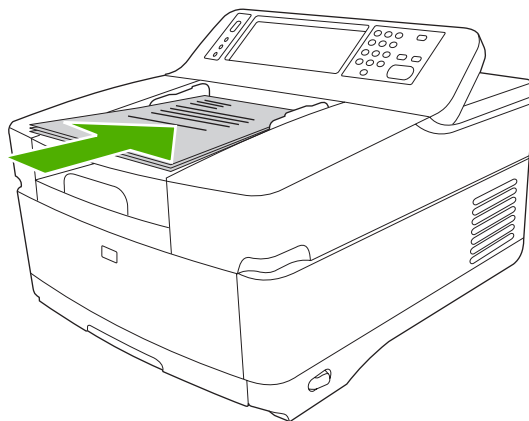
- ▲ 文書を下向きにしてスキヤナのガラス面に置きます。文書の右上端は、スキヤナのガラス面の右上端に合わせます。



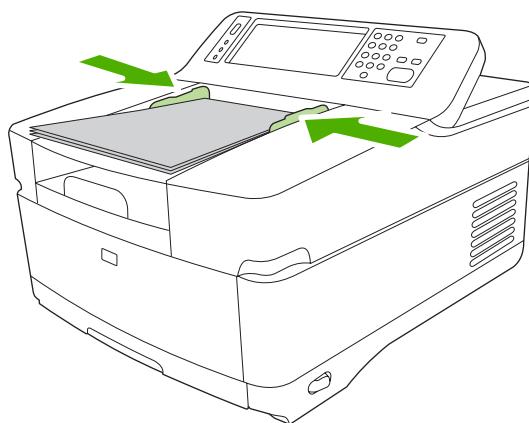
自動文書フィーダ (ADF) のセット

50 ページ以下 (ページの厚さによって変わります) の文書をスキャンするには、ADF を使用します。

1. 最初に、文書を上向きにし、用紙の上端から ADF に給紙されるようにセットします。



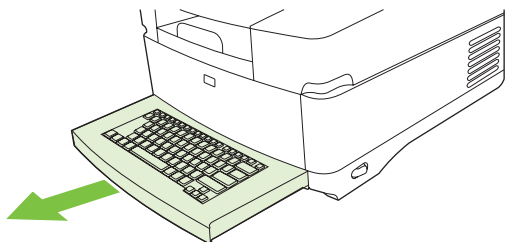
2. 用紙の束が動かない位置まで奥に差し込みます。
3. 用紙のサイズに合わせてメディアガイドを調整します。



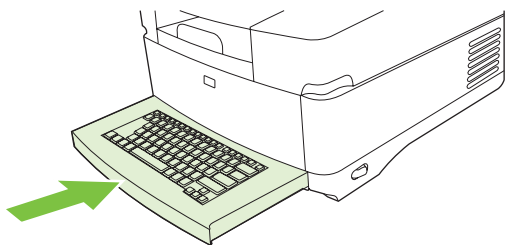
キーボードの使用

デジタル送信機には、ファイルを電子メール アドレスに送信するときに必要な情報の入力に使用できるキーボードが内蔵されています。

1. デバイスの底部からキーボードトレイを引き出します。



2. デバイスのタッチスクリーンのアクティブなフィールドに必要な情報を入力します。次のキーを使用してキーボードから操作します。
 - **Esc** キーを押すと、直前の画面に戻ります。
 - **Tab** キーを押すと、カーソルを次のフィールドに移動できます。
 - スキャンを開始するには、コントロールパネルの **[スタート]** ボタンを押します。
3. キーボードを使い終わったら、キーボードトレイをデバイスに押し入れます。



基本的な送信情報

ログイン

デジタル送信機に近付くと、[ホーム] 画面が表示されます。表示されるオプションは、システム管理者が有効にしたデジタル送信オプションです。

システム管理者は、デジタル送信機の一部またはすべての機能を使用する際にユーザー名とパスワードを要求するようにデバイスを設定できます。認証が必要な機能を使用しようとする、ログイン画面が表示されます。

1. [ユーザー名] をタッチし、ネットワーク ユーザー名を入力します。
2. [パスワード] をタッチし、ネットワーク パスワードを入力します。

使用するユーザー名やパスワードが不明な場合は、システム管理者にお問い合わせください。


3. ネットワーク設定に応じて、必要なネットワーク情報を入力します。
 - **Windows ネットワーク システム:**ドメイン名を入力します。
 - **Novel Bindery :** サーバー名を入力します。
 - **Novell NDS :** ツリーとコンテキストを入力します。
4. [OK] をタッチします。

ログインすると、[ホーム] 画面に [ログアウト] ボタンが表示されます。ジョブが終了したら、このボタンをタッチするか、コントロールパネルの [リセット] ボタンを押して、ログアウトします。アイドル状態が一定時間続いた場合も、自動的にログアウトします。デフォルトのタイムアウト設定は 60 秒です。この設定はシステム管理者が変更できます。

現在のジョブの設定の変更

現在のスキャン ジョブの次の設定を変更するには、[電子メール送信]、[ネットワーク フォルダに送信]、または [ワークフローへ送信] 画面の [その他のオプション] ボタンを使用します。

ボタン	説明
[文書ファイル タイプ]	文書のスキャン後に作成されたファイルのタイプを変更するには、このボタンにタッチします。ファイルのタイプは次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none">● .PDF : .PDF ファイル形式はデフォルトの設定で、最良のテキストおよびグラフィック品質を提供します。ただし、受信者が .PDF ファイルを表示するには、Adobe® Acrobat® ビューアをインストールしていなければなりません。このファイル形式では、スキャンしたすべてのページが含まれる電子メールの添付ファイルが 1 つ生成されます。● .JPG : .JPG ファイルの品質は .PDF よりも劣りますが、受信者はインターネット ブラウザを使用して .JPG ファイルを簡単に表示できます。このファイル形式では、スキャンしたページごとに電子メールの添付ファイルが 1 つずつ作成されます。受信者は、.JPG ファイルを操作してさまざまなプログラムにインポートできます。● .TIFF : この標準ファイル形式は、多くのコンピュータ プログラムとの相性が良く、受信者による操作が可能です。このファイル形式では、スキャンしたページごとに電子メールの添付ファイルが 1 つずつ作成されます。● .MTIFF : .MTIFF は、スキャンした複数のページを電子メールの 1 つの添付ファイルに保存するマルチページ .TIFF ファイルです。

ボタン	説明
	 注記： ネットワークによって電子メールの添付ファイルのサイズが制限されている場合は、.MTIFF ファイルと .PDF ファイルが電子メールの複数の添付ファイルに分割されることがあります。
[出力品質]	スキャンするファイルの印刷品質を上下するには、このボタンにタッチします。印刷品質を高くすると、ファイルサイズも大きくなります。
[解像度]	スキャン解像度を変更するには、このボタンにタッチします。解像度を高くすると、ファイルサイズも大きくなります。
[カラー/黒]	文書をカラーとモノクロのどちらでスキャンするかを指定するには、このボタンにタッチします。
[原稿の面数]	原稿が片面か両面かを指定するには、このボタンにタッチします。
[内容の向き]	原稿の向きを縦または横に指定するには、このボタンにタッチします。
[原稿のサイズ]	このボタンにタッチして、文書のサイズをレター、A4、リーガル、またはレター/リーガル混合から選択します。
[テキスト/画像の最適化]	スキャンしている文書のタイプによって、スキャン手順を変更するには、このボタンにタッチします。
[ジョブ作成]	[ジョブ作成] モードを有効または無効にするには、このボタンにタッチします。有効にすると、小さいサイズのスキャン ジョブを複数スキャンして、1つのファイルで送信できます。
[イメージ調整]	濃さと鮮明度の設定を変更するとき、または原稿にある背景のごみをクリーニングするには、このボタンにタッチします。



注記： ジョブが送信されると、設定はデフォルト値に戻ります。デフォルト設定を変更するには、[管理] メニューの [デフォルト ジョブ オプション] メニューを使用します。

送信のキャンセル

送信ジョブをキャンセルするには、送信プロセスが完了する前に、コントロールパネルの [キャンセル] ボタンを押します。

電子メールを送信するためのデバイスの設定

文書を電子メールに送信するには、電子メール用にデバイスを設定する必要があります。



注記： 内蔵 Web サーバーを使用して電子メール設定を行うこともできます。HP ではこの方法をお勧めします。電子メールのスキャン機能の設定の役立つヒントや詳細については、デバイスのマニュアル CD に含まれる *Embedded Web Server User Guide* を参照してください。

機能の設定、問題の解決、このデバイスの使用方法の詳細については、www.hp.com/support/9250c にアクセスしてください。

対応プロトコル

SMTP

- SMTP (Simple Mail Transfer Protocol) は、電子メールを送受信するプログラム間の対話を定義する規則群です。このデバイスで電子メールに文書を送信するには、有効な SMTP IP アドレスがある LAN に接続する必要があります。SMTP サーバーは、インターネットにもアクセスできなければなりません。
- LAN 接続を使用している場合、システム管理者に SMTP サーバーの IP アドレスを問い合わせます。DSL 接続を使用している場合、サービス プロバイダに SMTP サーバーの IP アドレスを問い合わせます。

LDAP

- LDAP (Lightweight Directory Access Protocol) は、情報データベースにアクセスするために使用されます。デバイスが LDAP を使用している場合は、電子メール アドレスのグローバル リストが検索されます。電子メール アドレスの入力を開始すると、自動入力機能が使用され、入力した文字に一致する電子メール アドレスの一覧が LDAP から取得されます。文字をさらに入力すると、一致する電子メール アドレス数は少なくなります。
- デバイスは LDAP に対応していますが、電子メールの送信には LDAP への接続は必要ありません。



注記： LDAP 設定を変更する場合は、内蔵 Web サーバーを使用する必要があります。詳細については、デバイス CD の *Embedded Web Server User Guide* を参照してください。

電子メール サーバーの設定

SMTP サーバーの IP アドレスまたは名前については、ネットワーク管理者またはインターネット サービス プロバイダ (ISP) に確認してください。または、デバイスのコントロールパネルで IP アドレスを確認することもできます (ネットワーク アドレス をタッチします)。その後、以下の手順に従って、IP アドレスを手動で設定してテストします。

SMTP ゲートウェイ アドレスの設定

1. [ホーム] 画面の **管理** にタッチします。
2. **初期セットアップ** にタッチします。
3. **電子メール セットアップ** にタッチし、**SMTP ゲートウェイ** にタッチします。

- SMTP ゲートウェイ アドレス (IP アドレスまたは完全修飾ドメイン名) を入力します。IP アドレスまたはドメイン名がわからない場合は、ネットワーク管理者に問い合わせてください。
- OK にタッチします。

SMTP 設定のテスト

- [ホーム] 画面の **管理** にタッチします。
- 初期セットアップ** にタッチします。
- 電子メール セットアップ** にタッチし、**送信ゲートウェイのテスト** にタッチします。

設定が正しい場合、コントロール パネルのディスプレイに **Gateways OK (ゲートウェイ OK)** が表示されます。

最初のテストで成功したら、デジタル送信機能を使用して自分自身に電子メールを送信します。電子メールを受信できれば、デジタル送信機能は正しく設定されています。

電子メールを受信できない場合は、以下の手順でデジタル送信ソフトウェアの問題を解決してください。

- 設定ページを表示します。SMTP ゲートウェイ アドレスが正しいことを確認します。
- ネットワークが正しく動作していることを確認します。コンピュータから自分自身に電子メールを送信します。電子メールを受信できれば、ネットワークは正しく動作しています。電子メールを受信できない場合は、ネットワーク管理者またはインターネット サービス プロバイダ (ISP) にお問い合わせください。

ゲートウェイの検出

電子メール サーバーのアドレスが不明の場合は、次のいずれかの方法で確認できます。

デバイスのコントロール パネルから SMTP ゲートウェイの検索

- [ホーム] 画面の **管理** にタッチします。
- 初期セットアップ** にタッチします。
- 電子メール セットアップ** にタッチし、**送信ゲートウェイの検索** にタッチします。
タッチスクリーンには、検出された SMTP サーバのリストが表示されます。
- 適切な SMTP サーバを選択し、OK にタッチします。

電子メール プログラムから SMTP ゲートウェイを検索

ほとんどの電子メール プログラムは、電子メール メッセージの送信するときに SMTP と LDAP を使用しているため、電子メール プログラムの設定を参照して、SMTP ゲートウェイや LDAP サーバのホスト名を見つけることができます。



注記： インターネット サービス プロバイダ (ISP) を使用している場合、ゲートウェイの検索機能で SMTP の有効なサーバを検出できない可能性があります。ISP の電子メール サーバアドレスについては、ISP に問い合わせてください。

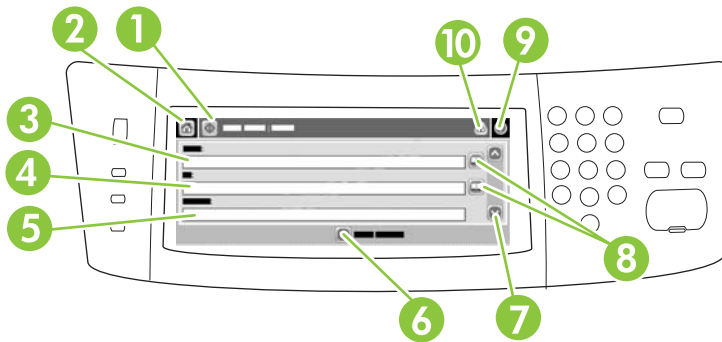
電子メールの送信

プリンタで白黒原稿とカラー原稿をスキャンすることができます。デフォルト設定を使用することも、スキャンのユーザー設定とファイル形式を変更することもできます。デフォルト設定は次のとおりです。

- カラー
- PDF。受信者が Adobe Acrobat ビューアを持っていないければ、電子メールの添付を見ることはできません。

[電子メール送信] 画面の使用

タッチスクリーンを使用して、[電子メール送信] 画面のオプションを移動できます。



1	電子メール送信 ボタン	このボタンにタッチすると、文書がスキャンされ、電子メール ファイルが指定して電子メールアドレスに送信されます。
2	[ホーム] ボタン	このボタンにタッチすると、[ホーム] 画面が開きます。
3	送信元： フィールド	このフィールドにタッチすると、キーボードが開きます。自分の電子メール アドレスを入力します。システム管理者の設定によっては、ここにデフォルトのアドレスが自動的に入力される場合もあります。
4	宛先： フィールド	このフィールドにタッチすると、キーボードが開きます。スキャンした文書を送信する相手の電子メール アドレスを入力します。
5	件名： フィールド	このフィールドにタッチすると、キーボードが開きます。件名を入力します。
6	その他のオプション ボタン	このボタンにタッチすると、現在のスキャン ジョブの電子メール設定を変更できます。
7	スクロール バー	スクロール バーを使用して、CC:、BCC:、メッセージ、ファイル名 の各フィールドを表示し、設定します。どのフィールドをタッチしてもキーボードが表示されるので、必要な情報を入力します。
8	アドレス帳のボタン	これらのボタンを押すと、アドレス帳を使用して、宛先：、CC:、BCC: の各フィールドを作成できます。詳細については、「46 ページの「アドレス帳の使用」」を参照してください。
9	[ヘルプ] ボタン	コントロール パネルの説明については、このボタンにタッチします。詳細については、「12 ページの「コントロールパネルの使用」」を参照してください。
10	[エラー警告] ボタン	ステータス行領域にエラーまたは警告がときにのみ、このボタンが表示されます。タッチするとポップアップ画面にエラーや警告を解決するときに役立つ情報が表示されます。

文書の送信

1. 文書を下向きにしてガラスの上にセットするか、上向きにして ADF にセットします。
2. ホーム画面の **電子メール** にタッチします。
3. メッセージが表示されたときは、ユーザー名とパスワードを入力します。
4. **送信元**：、**宛先**：、**件名**： の各フィールドに入力します。下にスクロールし、必要に応じて **CC**：、**BCC**：、**メッセージ** の各フィールドに入力します。ユーザー名や他のデフォルト情報が **送信元**： フィールドに表示される場合があります。この場合、変更できないこともあります。
5. (オプション) 送信する文書の設定（原稿サイズなど）を変更するには、**その他のオプション** にタッチします。両面の文書を送信する場合、**面** を選択し、両面の原稿についてのオプションを選択します。
6. **スタート** を押すと送信が開始されます。
7. 終了したら、原稿をスキャナのガラス面または ADF から取り除きます。

自動入力機能の使用

[電子メールの送信] 画面で **宛先**：、**CC**：、または **送信元**： の各フィールドに文字を入力すると、自動入力機能がアクティブになります。キーボード画面で必要なアドレスや名前を入力すると、自動的にアドレス帳リストが検索され、最初に一致したアドレスまたは名前が自動入力されます。**Enter** にタッチすると名前の入力終了します。または、自動入力で目的の項目が見つかるまで、名前の入力を続けます。文字を入力してもリストに一致する入力がない場合、自動入力テキストは表示されません。これは、アドレス帳にないアドレスを入力していることを示します。

アドレス帳の使用


プリンタのアドレス帳機能を使用して、リストに含まれる受信者に電子メールを送信できます。アドレス帳リストの設定方法については、システム管理者にお問い合わせください。




注記： 内蔵 Web サーバーを使用して電子メール アドレス帳を作成して管理することもできます。詳細については、デバイス CD の『Embedded Web Server User Guide』を参照してください。

受信者リストの作成

1. ホーム画面の **電子メール** にタッチします。
2. 以下のいずれかの手順を実行します。
 - **宛先**： にタッチしてキーボード画面を開き、受信者の電子メール アドレスを入力します。複数の電子メールを入力する場合はセミコロンで区切るか、タッチスクリーンの **Enter** にタッチします。
 - アドレス帳を使用します。
 - a. 電子メール送信画面のアドレス帳ボタン (☒) にタッチすると、アドレス帳が開きます。
 - b. スクロールバーを使用してアドレス帳の使用するエントリに移動します。矢印を押し続けると、リストのスクロール速度が速くなります。
 - c. 受信者を選択して名前をハイライトし、追加ボタン (⊕) にタッチします。

また、画面の上部にあるドロップダウン リストにタッチして配信リストを選択し、**すべて**にタッチするか、ドロップダウン リストの **ローカル** にタッチしてローカルのリストから受信者を追加します。使用する名前を選択してハイライトし、 にタッチすると、受信者リストに名前が追加されます。

リストから受信者を削除するには、削除する受信者を選択してハイライトし、削除ボタン () にタッチします。

3. 受信者リストの名前はキーボード画面のテキスト行に表示されます。必要に応じて、キーボードで電子メール アドレスを入力してアドレス帳にない受信者を追加できます。受信者リストの設定が終わったら、**OK** にタッチします。
4. **OK** にタッチします。
5. 必要に応じて、電子メール送信画面の **CC:** フィールドと **件名:** フィールドに入力します。**宛先:** テキスト行の下矢印にタッチすると、受信者リストを確認できます。
6. **スタート** を押します。


ローカルのアドレス帳の使用

頻繁に使用する電子メール アドレスをローカルのアドレス帳に保存できます。HP デジタル送信ソフトウェアを使用している場合は、同じ DSS サーバーを使用するデバイスでローカルのアドレス帳を共有することもできます。

[**送信元**]、[**宛先:**]、[**CC:**]、[**BCC:**] の各フィールドを入力するときにアドレス帳を使用できます。アドレス帳のアドレスは追加または削除することができます。

アドレス帳を開くには、アドレス帳ボタン () にタッチします。

ローカルのアドレス帳に電子メール アドレスを追加する

1. [**ローカル**] にタッチします。
2.  にタッチします。
3. (オプション) [**名前**] フィールドにタッチし、表示されるキーボードで新しいエントリの名前を入力します。**[OK]** にタッチします。

この名前は電子メール アドレスの別名です。別名を入力しないと、電子メール アドレスが別名として表示されます。


4. [**アドレス**] フィールドにタッチし、表示されるキーボードで新しいエントリの電子メール アドレスを入力します。**[OK]** にタッチします。

ローカルのアドレス帳から電子メール アドレスを削除する

不要な電子メール アドレスは削除できます。



注記: 電子メール アドレスを変更するには、ローカルのアドレス帳からそのアドレスを削除してから、新規のアドレスとして修正したアドレスを追加します。

1. [**ローカル**] にタッチします。
2. 削除する電子メール アドレスにタッチします。
3.  にタッチします。

以下の確認メッセージが表示されます。選択したアドレスを削除してよろしいですか？

4. 電子メール アドレスを削除する場合は [はい] にタッチし、アドレス帳画面に戻るには [いいえ] にタッチします。

フォルダにスキャン

システム管理者がこの機能を有効にしている場合、ファイルをスキャンしてネットワーク上のフォルダに送信できます。送信先フォルダの対応オペレーティング システムには、Windows 2000、Windows XP、Windows Server 2003、Novell があります。

1. 文書を下向きにしてガラスの上にセットするか、上向きにして ADF にセットします。
2. [ホーム] 画面の [ネットワーク フォルダ] をタッチします。
3. [クイック アクセス フォルダ] リストで文書を保存するフォルダを選択します。
4. [ファイル名] フィールドをタッチすると、キーボードのポップアップ画面が表示されます。この画面でファイル名を入力します。
5. [ネットワーク フォルダに送信] をタッチします。

ワークフローの排紙先にスキャン



注記： このデバイス機能は、オプションのデジタル送信ソフトウェア製品により提供されません。

システム管理者がワークフロー機能を有効にしている場合、文書をスキャンして、カスタムのワークフローの排紙先に送信できます。ワークフローの排紙先を使用すると、指定したネットワークまたはファイル転送プロトコル (FTP) にスキャンした文書と共に追加情報を送信できます。追加情報の入力を求めるメッセージがコントロールパネルのディスプレイに表示されます。システム管理者もワークフローの排紙先にプリンタを指定することができます。この場合、ユーザーが文書をスキャンして、ネットワークプリンタに直接送信して印刷できます。

1. 文書を下向きにしてガラスの上にセットするか、上向きにして ADF にセットします。
2. [ホーム] 画面の [ワークフロー] をタッチします。
3. スキャンの排紙先を選択します。
4. [テキスト フィールド] フィールドにファイルに追加するデータを入力し、[送信ワークフロー] をタッチします。

デジタル ファックスの送信

HP Digital Sending Software (オプション) をインストールしている場合は、デジタル ファックスを使用できます。このソフトウェアのご注文については、www.hp.com/go/9250c_software にアクセスしてください。

デジタル ファックスでは、デバイスを電話線に直接接続する必要がありません。代わりに、デバイスは次の 3 つの方法のいずれかによってファックスを送信します。

- **LAN ファックス**：サードパーティーのファックス事業者を介してファックスを送信します。
- **Microsoft Windows 2000 ファックス**：簡便なゲートウェイ ファックスとしてコンピュータが使用するファックス モデムおよびデジタル送信モジュールです。
- **インターネット ファックス**：インターネット ファックス事業者を介してファックスを処理します。ファックスは従来のファックス機に配信されるか、またはユーザーの電子メールに送信されます。

デジタル ファックスの使用の詳細については、HP Digital Sending Software に付属のマニュアルを参照してください。


5 デバイスの管理と保守

この章では、デバイスの管理方法と保守方法について説明します。

- [\[情報ページ\]の使用](#)
- [内蔵 Web サーバーの使用](#)
- [HP Web Jetadmin ソフトウェアの使用](#)
- [デジタル送信セキュリティの制御](#)
- [サプライ品とパーツの交換](#)
- [デバイスのクリーニング](#)
- [ファームウェアのアップグレード](#)
- [スキャナの校正](#)

[情報ページ] の使用

コントロールパネルのタッチスクリーンから、デバイスとその現在の設定についての詳細を確認するページを表示できます。

ページの説明	ページの表示方法
設定ページ デバイスの設定と取り付けられているアクセサリを表示します。	<ol style="list-style-type: none">1. [ホーム] 画面から、[管理] にタッチします。2. [情報] にタッチします。3. [設定/ステータス ページ] にタッチします。4. [設定ページ] にタッチします。5. [表示] をタッチします。
	 注記： デバイスに HP Jetdirect プリント サーバーやオプションのハードディスクドライブが装着されている場合は、それらのデバイスに関する情報を示す追加の設定ページが表示されます。
使用状況ページ スキャンされた用紙のサイズごとのページカウント、片面 (単純) または両面ページの枚数、およびトナー適用範囲の平均パーセンテージを表示します。	<ol style="list-style-type: none">1. [ホーム] 画面から、[管理] にタッチします。2. [情報] にタッチします。3. [設定/ステータス ページ] にタッチします。4. [使用状況ページ] にタッチします。5. [表示] をタッチします。

内蔵 Web サーバーの使用



注記： Digital Sender Software CD に含まれている HP Digital Sending Software を使用する
場合、このセクションで説明する以下の機能を実行するために HP MFP DSS 設定ユーティリ
ティを使用する必要があります。設定の手順については、マニュアル CD に収録されている
『HP Digital Sending Software Support Guide』を参照してください。

- デバイスのコントロール ステータス情報の表示
- デバイスのコントロール パネル メニューの設定の表示と変更
- 内部ページの表示
- デバイス イベント通知の受信
- ネットワーク設定の表示と変更
- デバイスの現状に合わせたサポート コンテンツの表示

デバイスがネットワークに接続されている場合、内蔵 Web サーバーを自動的に使用できます。

内蔵 Web サーバーを使用するには、Microsoft Internet Explorer 4 以降または Netscape Navigator 4
以降を使用する必要があります。内蔵 Web サーバーが機能するのは、デバイスが IP 対応ネットワ
ークに接続されている場合です。内蔵 Web サーバーは、IPX 対応ネットワークまたは AppleTalk プリ
ンタ接続に対応していません。内蔵 Web サーバーを開いて使用するときは、インターネット アクセ
スは必要ありません。

ネットワーク接続を使用して、内蔵 Web サーバーを開く

1. コンピュータ上の対応 Web ブラウザで、アドレスまたは URL フィールドにデバイスの IP アド
レスまたはホスト名を入力します。IP アドレスまたはホスト名を表示させるには、デバイスのコ
ントロール パネルのタッチスクリーンの[ネットワーク アドレス] ボタンを押すか、設定ページ
を参照します。



注記： URL を開いたら、いつでもすぐに表示できるようにお気に入り (ブックマーク)
に追加することができます。

2. 内蔵 Web サーバーには、デバイスに関する設定や情報を確認するための [情報] タブ、[設定] タ
ブ、[ネットワークング] タブがあります。表示するタブをクリックしてください。

各タブの詳細については、55 ページの「[内蔵 Web サーバーのセクション](#)」を参照してくださ
い。

内蔵 Web サーバーのセクション

タブまたはセクション	オプション
[情報] タブ デバイス、ステータス、および設 定に関する情報を表示します。	<ul style="list-style-type: none">● [デバイス ステータス]: デバイス ステータスを表示します。デフォルトの設定を 変更する場合は、[設定の変更] をクリックします。● [設定ページ]: 設定ページの情報を表示します。● [サプライ品のステータス]: サプライ品の注文およびリサイクルについての情報を 表示します。新しいサプライ品を注文するには、ウィンドウの左側にある [その他 のリンク] エリアの [サプライ品の注文] をクリックします。● [イベント ログ]: すべてのデバイス イベントとエラーの一覧を表示します。

[設定] タブ

コンピュータからデバイスを設定
できます。

- **[使用状況ページ]**：用紙のサイズとタイプ別にデバイスでスキャンされたページ数の概要を表示します。
- **[デバイス情報]**：デバイスのネットワーク名、アドレス、およびモデル情報を表示します。これらのエントリを変更する場合は、**[設定]** タブの **[デバイス情報]** をクリックします。
- **[コントロールパネル]**：**[印字可]**、**[スリープモードオン]** など、デバイスのコントロールパネルからのメッセージを表示します。
- **[デバイスの設定]**：デバイスを設定できます。このページでは、コントロールパネルを使用して、デバイスの従来型のメニューを表示します。
- **[電子メール サーバー]**：**[警告]** ページと連動して、受信および送信電子メール、および電子メールの警告を設定します。
- **[警告]**：さまざまなデバイスおよびサプライ品のイベントの電子メール警告を受信するように設定できます。
- **[自動送信]**：デバイスの設定およびサプライ品に関する自動電子メールを特定の電子メールアドレスに送信するようにデバイスを設定できます。
- **[セキュリティ]**：**[設定]** および **[ネットワークング]** タブにアクセスするためのパスワードを設定します。内蔵 Web サーバーの任意の機能を有効または無効にします。
- **[認証マネージャ]**：使用前にユーザーが正しくログインすることが必要であるデバイス機能の設定を可能にします。
- **[LDAP 認証]**：デジタル送信機を LDAP サーバーに対して認証するように設定を可能にします。
- **[Kerberos 認証]**：デジタル送信機を Kerberos Domain Controller に対して認証するように設定を可能にします。
- **[その他のリンクの編集]**：別の Web サイトへのリンクを追加またはカスタマイズできます。このリンクは、内蔵 Web サーバーのすべてのページの **[その他のリンク]** 領域に表示されます。
- **[デバイス情報]**：デバイスに名前を付け、アセット番号を割り当てることができます。デバイスに関する情報を受信する主要な連絡先の名前と電子メールアドレスを入力できます。
- **[言語]**：内蔵 Web サーバーの情報を表示する言語を指定します。
- **[日付と時刻]**：ネットワーク タイム サーバーと時間の同期をとります。
- **[スリープ復帰時刻]**：デバイスのスリープ復帰時刻を設定または編集できます。



注記：**[設定]** タブはパスワードで保護できます。デバイスがネットワークに接続されている場合は、このタブで設定を変更する前に必ずデバイスの管理者に相談してください。

[デジタル送信] タブ

コンピュータからデバイスのデジタル送信を設定できるようにします。

- **[全般的な設定]**：管理者の情報を追加または変更できます。
- **[電子メール設定]**：電子メールサーバーのアドレス、認証の要件、およびデフォルトの送信元アドレスの設定などの電子メール設定を変更できます。
- **[フォルダに送信]**：**[フォルダに送信]** 機能を有効または無効にしたり、ファイルの受信が可能なネットワーク フォルダを定義したり、ネットワーク フォルダを設定したりすることができます。
- **[アドレス情報]**：LDAP アドレス帳とサーバーを使用するようにデバイスを設定できます。

タブまたはセクション

オプション

- **[アドレス帳]**：定義済み送信先電子メール アドレスのリストをデバイス アドレス帳に追加できます。
- **[ログ]**：すべてのエラーなどの、デジタル送信ジョブについての情報を表示することができます。
- **[基本設定]**：デフォルトのスキャナ設定などの、デジタル送信機能の全般的な設定ができます。

[ネットワーク] タブ

コンピュータからネットワーク設定を変更できます。

ネットワーク管理者は、このタブを使用して、デバイスが IP ベースのネットワークに接続されているときにデバイスのネットワーク関連の設定を制御することができます。デバイスが直接コンピュータに接続されている場合、またはデバイスが HP Jetdirect プリント サーバー以外を使用してネットワークに接続されている場合、このタブは表示されません。



注記： [ネットワーク] タブはパスワードで保護できます。

[その他のリンク]

インターネットに接続するさまざまなリンクが表示されます。

- **[HP Instant Support™]**：トラブルの解決方法を参照するために HP の Web サイトに接続します。このサービスは、デバイスのエラー ログと設定情報を分析して、そのデバイスに合った診断とサポート情報を提供するものです。
- **[サプライ品の注文]**：HP SureSupply Web サイトに接続し、ADF 保守キットや用紙などの HP 純正サプライ品の購入オプションに関する情報を表示できます。
- **[製品サポート]**：デバイスのサポート サイトに接続し、一般的なトピックに関するヘルプを検索することができます。



注記： これらのリンクを使用するには、インターネットにアクセスできる環境が必要です。ダイヤルアップ接続を使用しており、内蔵 Web サーバーを最初に起動したときにインターネットに接続しなかった場合は、これらの Web サイトにアクセスする前にインターネットに接続する必要があります。インターネットに接続する場合は、内蔵 Web サーバーをいったん閉じて再起動しなければならない場合があります。

HP Web Jetadmin ソフトウェアの使用

HP Web Jetadmin は、ネットワークに接続された周辺装置のインストール、監視、およびトラブルの解決をリモートで実現する Web ベースのソフトウェア ソリューションです。分かりやすいブラウザ インタフェースによって、HP 製プリンタと HP 製以外のデバイスを含む幅広いデバイスのクロスプラットフォーム管理が容易になります。問題が発生する前に事前に管理できるので、ネットワーク管理者はユーザーに影響が及ぶ前に問題を解決することができます。この無料の拡張管理ソフトウェアは、www.hp.com/go/webjetadmin_software からダウンロードしてください。

HP Web Jetadmin 用のプラグインを入手するには、**[プラグイン]** をクリックした後、必要なプラグインの名前の横にある **[ダウンロード]** リンクをクリックします。新しいプラグインが使用可能になると、HP Web Jetadmin ソフトウェアから自動的に通知されます。**[製品の更新]** ページの指示に従うと、HP Web サイトに自動的に接続されます。

HP Web Jetadmin をホスト サーバーにインストールすると、Windows 用の Microsoft Internet Explorer 6.0 や Linux 用の Netscape Navigator 7.1 など、対応している Web ブラウザを通じて任意のクライアントから使用することができます。HP Web Jetadmin ホストにアクセスしてください。



注記： ブラウザは Java 対応である必要があります。Apple PC からのアクセスには対応していません。

デジタル送信セキュリティの制御

このデジタル送信機はセキュリティを考慮してデザインされました。これには、デジタル送信プロセスのセキュリティを保護するためのさまざまな機能が含まれています。

ネットワーク認証

このデジタル送信機の最も基本的なセキュリティ機能は、ユーザーがデジタル送信機能を使用する前に、ネットワーク ログインを要求する機能です。この機能によって、許可のないユーザーがデバイスから文書を送信するのを防ぐことができます。また、本装置は、高レベルの暗号化とセキュリティを提供する、複数の認証メソッドをサポートします。

安全な電子メール

多数のサードパーティ ソフトウェア ベンダが安全な電子メール送信のためのサービスを提供しています。**[セカンダリ電子メール]**機能は、より強力なデータ セキュリティを必要とするユーザー向けに、これらのサードパーティ ソフトウェア プログラムと連動して動作するようにデザインされています。詳細については、DSS サポート ガイドを参照してください。

ソフトウェアへのアクセス制限

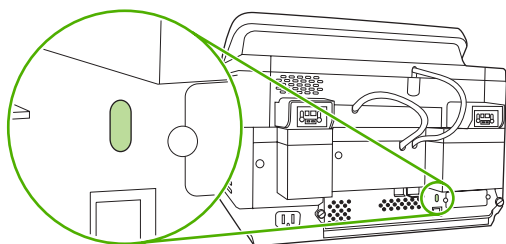
本装置を安全に保つためには、デバイスの設定に用いられるソフトウェア プログラムへのアクセスも制限する必要があります。デフォルトでは、デジタル送信機が HP DSS サービスの使用を開始すると、内蔵 Web サーバー (EWS) の各種設定オプションは無効となります。その場合、デジタル送信機は HP MFP DSS 設定ユーティリティを用いてのみ設定できます。これによって、設定タスクを中央に集中させ、セキュリティの管理をより容易にします。HP DSS がセキュアなサーバーにインストールされ、許可のないユーザーが HP MFP DSS 設定ユーティリティを使用できないことを確認する必要があります。

また、デバイス設定タブへのアクセスを防ぐために、EWS にパスワードを設定することもできます。パスワードの設定後は、ユーザーには**[情報]**タブのみが表示されます。**[セキュリティ]**ページの詳細については、デバイス CD に含まれている内蔵 Web サーバー ガイドを参照してください。

デジタル送信機を制御するために使用できる最終的なソフトウェア プログラムは、HP Web Jetadmin プログラムです。このプログラムは、設定を変更する前にパスワードを要求するように設定することもできます。また、セキュアなサーバーにインストールし、許可のないユーザーのアクセスから保護する必要があります。

セキュリティ ロック

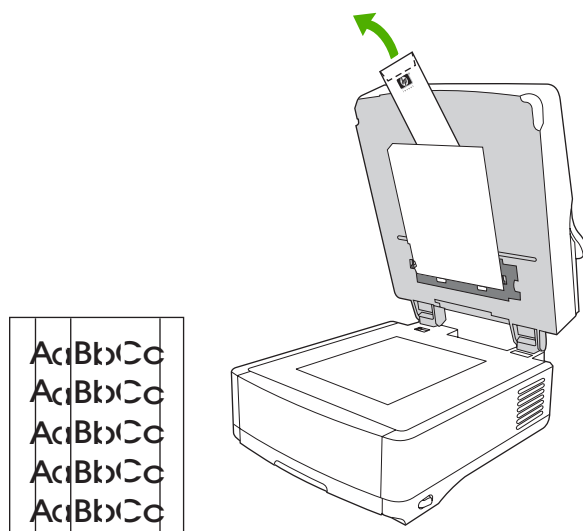
セキュリティ ロックとは、デバイス内部のコンポーネントの取り外しを防ぐ、機械的なロックです。ラップトップコンピュータを保護するような、サードパーティ製のコンピュータ ロックを使用します。ロックは本体とは別に購入し、デバイスの図で示されている位置に設置してください。



サプライ品とパーツの交換

マイラー シートの交換

下図のように、スキャンされたイメージに縦すじが入るようになった場合、ADF の基部にあるマイラー シートの交換が必要になる可能性があります。本装置は購入時に、予備のマイラー シート 3 枚と取り付け手順の入った封筒が同梱されています。下図のように、この封筒は ADF のプラスチックの保護マットの裏にあるポケットに入っています。



マイラー シートを交換するには、封筒に入っている指示書の手順に従ってください。



注記： 必要に応じて、予備のマイラー シート交換キットを HP セールス担当者よりご注文いただけます。HP パーツ番号は Q6496A です。

ADF 保守キットの交換

ADF 保守キットの交換が必要な時期になると、コントロールパネル ディスプレイに通知メッセージが表示されます。保守キットの残りの寿命は、コントロールパネルの **[ステータス]** ボタンを押して表示させるか、または EWS **[サプライ品のステータス]** ページ (デバイス CD に含まれている内蔵 Web サーバー ガイドを参照してください) で確認できます。

ADF 保守キットは以下のアイテムを含みます。

- ピックアップ ローラー装置 1 個
- 分離パッド 1 枚
- マイラー シートキット 1 組
- 使用説明書冊子 1 部

キットに含まれる説明書に従って設置してください。

キットを交換した後、[新しい文書フィーダキット]設定をリセットします。

1. [ホーム]画面の[管理]を押します。
2. 下にスクロールして、[リセット]を押します。
3. [サプライ品のリセット]を押します。
4. [新しい文書フィーダキット]を押します。
5. [はい]を押して、[保存]を選択します。

デバイスのクリーニング

スキャン中に紙やほこりがプリンタ内に溜まる場合があります。長い間には、これがスキャンした文書の斑点などの原因となり、問題になることがあります。

外装のクリーニング

やわらかい湿った糸くずの出ない布を使用して、デバイスの外装からほこり、染み、汚れを拭き取ります。

ガラス面の清掃

- ガラス面の清掃は、汚れが見える場合、またはスキャン品質の低下(すじが入るなど)が見られる場合にのみ行ってください。
- 湿らせた、清潔なけばのない布で、スキャナ ガラスを軽く拭きます。布を湿らせるには、アンモニア系のクリーナを使用します。



注意： 液体をガラス面に直接かけたり、スプレーしたりしないでください。ガラスが割れる可能性があるため、ガラス面を強く押さないでください。

タッチスクリーンの清掃

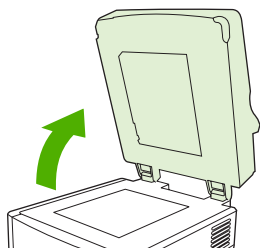
必要に応じて、タッチスクリーンの指紋や溜まったほこりを拭き取ってください。水で湿らせた、清潔なけばのない布でタッチスクリーンを軽く拭きます。



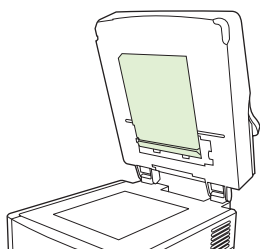
注意： 水のみを使用してください。溶剤やクリーナを使用すると、タッチスクリーンを破損する可能性があります。水をガラス面に直接かけたり、スプレーしたりしないでください。

ADF 送出システムの清掃

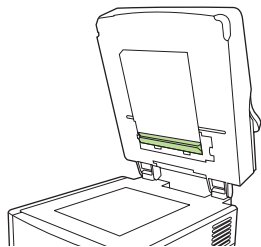
1. デジタル送信機の上部を持ち上げます。



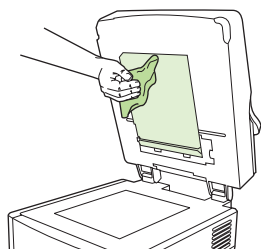
2. ADF の、白いプラスチックの保護マットを見つけます。



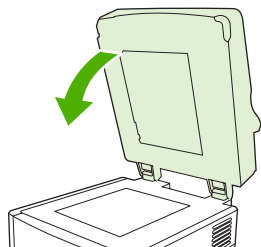
3. 白いプラスチックのキャリブレーションストリップを見つけます。



4. 湿らせた、清潔でけばのない布で、ADFの保護マットとキャリブレーションストリップを拭きます。布を湿らせるには、アンモニア系のクリーナーを使用します。



5. デジタル送信機の上部を閉じます。

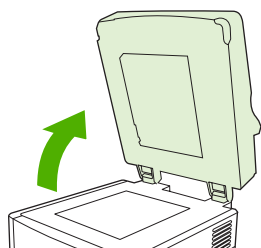


ADF ローラーの清掃

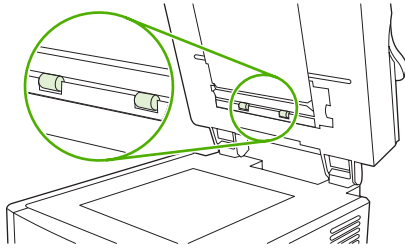
ミスフィードや原稿の汚れが発生する場合、ADF ローラーを清掃する必要があります。

△ 注意： ローラーを頻繁に清掃すると、プリンタ内にほこりが入る原因となります。

1. スキャナ カバーを開きます。



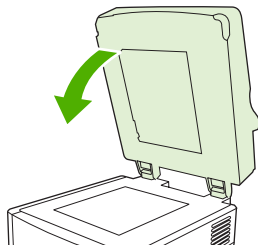
2. プラスチックのキャリブレーションストリップのそばにあるローラーを見つけます。



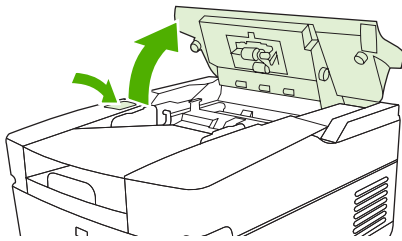
3. 水で湿らせた、清潔なけぼのない布でローラーを軽く拭きます。

△ 注意： ローラーに直接水をかけないでください。プリンタが破損することがあります。

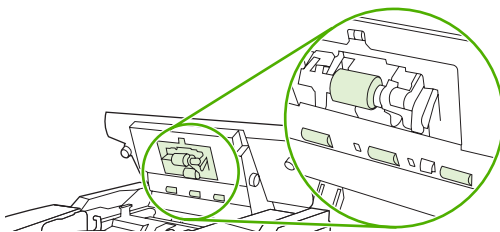
4. スキャナ カバーを閉じます。



5. リリース ボタンを押して、ADF のカバーを開きます。



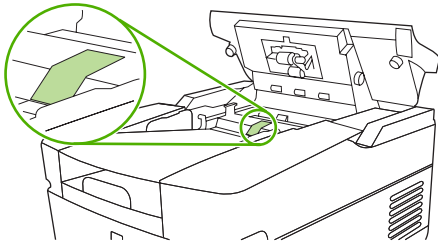
6. ローラーを見つけます。



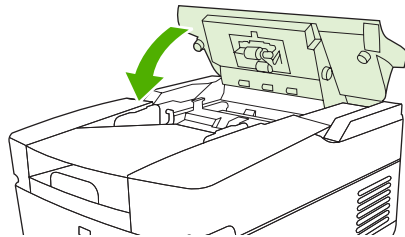
7. 水で湿らせた、清潔なけぼのない布でローラーを拭きます。

△ 注意： ローラーに直接水をかけないでください。プリンタが破損することがあります。

8. 分離パッドを見つけます。



9. 水で湿らせた、清潔なけばのない布でパッドを拭きます。
10. ADF カバーを閉じます。



ファームウェアのアップグレード

HP 9250C Digital Sender は、リモート ファームウェア アップデート (RFU) 機能を搭載しています。デジタル送信機のファームウェアをリモートでアップグレードするには、次の手順に従ってください。これらの手順は、後のセクションでより詳細に説明されます。

1. デバイスにインストールされているファームウェアの現在のレベルを調べます。
2. Web サイトにアクセスし、新しいバージョンが入手可能かどうか調べます。最新バージョンがある場合は、お使いのコンピュータにダウンロードします。
3. デバイスに新しいファームウェアをダウンロードします。

ファームウェアの現在のレベルを調べる

1. デバイスのコントロール パネルの設定ページを開きます。[54 ページの「\[情報ページ\]の使用」](#)を参照してください。
2. **デバイス情報** とマークされた設定セクションにスクロールし、ファームウェアの日付コードを確認します。ファームウェアの日付コードは「20030502 05.003.0」のような形式です。

HP Web サイトから新しいファームウェアをダウンロードする

デジタル送信機ファームウェアの最新アップグレードを確認するには、www.hp.com/go/9250c_firmware を参照してください。このページには、新しいバージョンのファームウェアをダウンロードする手順も含まれています。

Web サイトから新しいバージョンのファームウェアをダウンロードし、次のセクションに示されている方法の 1 つを用いてデジタル送信機のファームウェアを更新します。

直接ネットワーク接続での FTP を使用したファームウェアのアップグレード

.RFU ファイルの更新を受信するには、デバイスは「準備完了」の状態である必要があります。キューで RFU ジョブよりも先に入っているジョブがある場合、更新が処理される前にそれらのジョブが完了します。

更新にかかる時間は、I/O 転送およびデバイスの再初期化にかかる時間に依存します。I/O 転送にかかる時間は、更新を送信するホスト コンピュータの処理速度などの多数の要因に依存します。ファームウェアのダウンロードが完了する前にリモート ファームウェア アップデートが中断された場合 (**アップグレードの受信中** メッセージがコントロール パネル ディスプレイに表示されている間)、ファームウェアは再送信される必要があります。フラッシュ DIMM 更新中に電源が切れた場合 (**アップグレードの実行中** メッセージがコントロール パネル ディスプレイに表示されている間)、更新は中断され **Resend Upgrade** (アップグレードの再送信) メッセージがコントロール パネル ディスプレイに表示されます (英語のみ)。

FTP を使用してアップグレードを実行するには、次の手順に従ってください。



注記： ファームウェアの更新は、不揮発性 RAM (NVRAM) の形式の変更を伴います。メニュー設定を変更している場合はデフォルトに戻る可能性があります。デフォルト以外の設定を使用したい場合は、設定を再度変更する必要があります。

1. デジタル送信機の TCP/IP アドレスを取得していない場合、EIO Jetdirect ページから取得します。HP Jetdirect ページは、コントロールパネルの設定ページで 2 番目に表示されます。



注記： デジタル送信機に接続する前に、スリープモードが解除されていることを確認します。また、コントロールパネルディスプレイからすべてのエラーメッセージがクリアされていることも確認します。

2. お使いのコンピュータ上でコマンドウィンドウを開きます。
3. 次のように入力します。「ftp <TCP/IP ADDRESS>」たとえば、TCP/IP アドレスが「192.168.0.90」の場合、「ftp 192.168.0.90」と入力します。
4. キーボードで **Enter** キーを押します。
5. ユーザー名を要求されたら、**Enter** キーを押します。
6. パスワードを要求されたら、**Enter** キーを押します。
7. コマンドプロンプトで「bin」と入力します。
8. **Enter** キーを押します。**200 Types set to I, Using binary mode to transfer files** (200 タイプは I に設定されています。バイナリモードで転送しています) というメッセージがコマンドウィンドウに表示されます。
9. 「put <FILENAME>」と入力します。<FILENAME> は、Web からダウンロードした .RFU ファイルが置いてあるパスです。たとえば、「put C:\LJ\9250FW.RFU」と入力し、**Enter** キーを押します。



注記： ファイル名またはパスがスペースを含む場合、ファイル名またはパスを二重引用符で囲む必要があります。たとえば、「put "C:\MY DOCUMENTS\LJ\9250FW.RFU"」と入力します。

次の一連のメッセージがコマンドウィンドウに表示されます。

200 PORT command successful (200 PORT コマンドは成功しました)

150 Opening BINARY mode data connection (150 BINARY モード データ接続を開始しています)

226 Ready (226 準備完了)

226 Processing Job (226 ジョブを処理しています)

226 Transfer complete (226 転送が完了しました)

次に、転送速度の情報を含むメッセージが表示されます。

10. ダウンロードが開始され、デバイス上でファームウェアが更新されます。この処理には、約 5 分ほどかかります。処理が完了するまで、デバイスおよびコンピュータを操作しないでください。



注記： アップグレード処理が完了すると、デジタル送信機はファームウェアを自動的に再起動します。

11. コマンドプロンプトで「bye」と入力し、ftp コマンドを終了します。
12. コマンドプロンプトで「exit」と入力し、Windows インターフェイスに戻ります。

USB 接続を使用したデバイス ファームウェアのアップグレード

デバイスが USB 経由で接続されている場合、次の手順に従ってください。

1. コマンドプロンプトまたは MS-DOS ウィンドウで、「copy /b <FILENAME>\<COMPUTERNAME>\<SHARENAME>」と入力します。「<FILENAME>」はパスを含む .RFU の名前、「<COMPUTERNAME>」はデバイスの共有元コンピュータの名前、「<SHARENAME>」はデバイスの共有名です。たとえば、次のように入力します。

```
copy /b 3000fw.rfu\your_computer\9250c
```



注記： ファイル名またはパスがスペースを含む場合、ファイル名またはパスを二重引用符で囲む必要があります。たとえば、「C:\>copy /b "c:\My Documents\xxxxfw.rfu" \your_computer\clj3000」のように入力します。

2. キーボードで **Enter** キーを押します。デバイス コントロール パネルにいくつかのステータスメッセージが表示された後、**[1 file(s) copied]** というメッセージがコンピュータの画面に表示されます。
3. ダウンロードが開始され、デバイス上でファームウェアが更新されます。この処理には数分かかる場合があります。処理が完了するまで、デバイスおよびコンピュータを操作しないでください。



注記： 更新を有効にするために、自動的にデバイスの電源が切れ、再起動します。これは何度か発生する可能性があります。更新処理の終了時に、コントロールパネルに **Ready** メッセージが表示されます。このメッセージが表示されるまで、デバイスの電源を切ったり、更新に干渉しないでください。

4. デバイス コントロール パネルで、設定ページを開き、ファームウェアの改定番号が現在の更新版の改定番号と一致していることを確認します。

HP Web Jetadmin を使用したファームウェアのアップグレード

この手順では HP Web Jetadmin Version 7.0 以降がインストールされている必要があります (58 ページの「[HP Web Jetadmin ソフトウェアの使用](#)」を参照してください)。HP Web サイトから .RFU ファイルをダウンロードした後に、HP Web Jetadmin を使用して単一のデバイスを更新するには、次の手順に従ってください。

1. HP Web Jetadmin を起動します。
2. **[ナビゲーション]** パネルのドロップダウン リストから **[デバイスの管理]** フォルダを開きます。**[デバイス リスト]** フォルダへ移動します。
3. **[デバイス リスト]** フォルダを展開し、**[すべてのデバイス]** を選択します。デバイスのリストで更新するデジタル送信機を見つけ、クリックして選択します。
4. **[デバイス ツール]** のドロップダウン ボックスを、ウィンドウの右上に見つけます。アクションのリストから **[プリンタ ファームウェアの更新]** を選択します。
5. **[新しいファームウェア イメージのアップロード]** で **[参照]** をクリックし、この手順の最初に Web からダウンロードした .RFU ファイルの場所へ移動します。ファイルを選択します。

6. **[アップロード]** をクリックして、.RFU ファイルを HP Web Jetadmin サーバー上の正しい場所に移動します。アップロードが完了すると、ブラウザ ウィンドウが更新されます。
7. 新しい .RFU の日付コードを **[新しいバージョンのファームウェアの選択]** ドロップダウン メニューから選択します。
8. **[今すぐファームウェアを更新]** をクリックします。HP Web Jetadmin が選択された .RFU ファイルをデバイスに送信します。デジタル送信機のコントロール パネルには、アップグレードの進捗を示すメッセージが表示されます。アップグレード処理が完了すると、デジタル送信機はファームウェアを再起動します。

HP Jetdirect Inside ファームウェアのアップグレード

デバイス上の HP Jetdirect Inside ネットワーク インターフェイスには、デジタル送信機のファームウェアとは別にアップグレードが可能なファームウェアが組み込まれています。この手順では HP Web Jetadmin Version 6.2 以降がインストールされている必要があります。HP Web Jetadmin を使用して HP Jetdirect ファームウェアを更新するには、次の手順を完了してください。

1. Web Jetadmin プログラムを開きます。
2. **[ナビゲーション]** パネルのドロップダウン リストから **[デバイスの管理]** フォルダを開きます。**[デバイス リスト]** フォルダへ移動します。
3. 更新するデバイスを選択します。
4. **[デバイス ツール]** ドロップダウン リストで **[Jetdirect ファームウェアの更新]** を選択します。
5. **[Jetdirect ファームウェアのバージョン]** の下に、Jetdirect のモデル番号と現在のファームウェアのバージョンがリストされています。これらをメモします。
6. www.hp.com/go/wja_firmware にアクセスします。
7. Jetdirect モデル番号のリストまで下にスクロールして、メモしたモデル番号を見つけます。
8. ファームウェアの現在のバージョンが、メモにあるバージョンよりも後のものであるかどうか確認します。後のバージョンである場合、ファームウェア リンクを右クリックし、Web ページの指示に従って新しいファームウェアのファイルをダウンロードします。ファイルは、HP Web Jetadmin ソフトウェアが動作しているコンピュータの、"<ドライブ>:\PROGRAM FILES\HP WEB JETADMIN\DOC\PLUGINS\HPWJA\FIRMWARE\JETDIRECT" に保存する必要があります。
9. Web Jetadmin で、メイン デバイス リストに戻り、デジタル送信機を再度選択します。
10. **[デバイス ツール]** ドロップダウン リストで **[Jetdirect ファームウェアの更新]** を再度選択します。
11. Jetdirect ファームウェア ページで、**[HP Web Jetadmin で使用可能な Jetdirect ファームウェア]** の下に新しいファームウェアのバージョンが表示されます。**[今すぐファームウェアを更新]** ボタンをクリックし、Jetdirect ファームウェアを更新します。

スキャナの校正

スキャナを校正して、ADF とスキャン機能のスキャナのイメージ システム (キャリッジ ヘッド) で、オフセットを補正します。機械的な許容範囲なので、スキャナのキャリッジ ヘッドでイメージの位置を適切に読み取ることができないことがあります。校正手順の間に、スキャナのオフセット値が計算され、保存されます。文書の正しい範囲がスキャンされるようにスキャンを実行するときに、オフセット値が使用されます。

スキャナの校正は、スキャンしたイメージにオフセットの問題が発生した場合にのみ実行します。スキャナは工場から出荷する前に校正されています。再校正が必要な場合はまれです。

1. [ホーム] 画面の [管理] をタッチします。
2. [トラブルシューティング] にタッチします。
3. デジタル送信機のフラットベッド スキャナに付属のキャリブレーション シートを配置します。



注記： デジタル送信機に付属のキャリブレーション シートがお手元にはない場合は、www.hp.com/go/9250c_scanner_cal にアクセスし、シートをダウンロードして印刷してください。

4. [スキャナの校正] にタッチし、画面のダイアログボックスの指示に従います。

校正処理が開始され、処理が完了するまで、タッチスクリーンのステータス行に **校正中** と表示されます。

6 問題の解決

この情報は、デバイスの問題を解決する際に役立つように構成されています。次のリストから一般的なトピックまたは問題のタイプを選択してください。

- [問題に関する情報源](#)
- [コントロールパネルのメッセージ](#)
- [紙詰まり](#)
- [電子メールに関する問題の解決](#)


問題に関する情報源

ソース	説明
コントロールパネルのランプ	<ul style="list-style-type: none">● 開始 LED ランプ - 開始 LED ランプは、デバイスでスキャン可能になると緑色に、エラーが発生するとオレンジ色になります。● 印刷可 LED ランプ - 緑色の印刷可 LED ランプは、デバイスがオンラインになり、スキャン可能になると点灯します。ジョブの一時停止中は点滅します。デバイスが一時停止しているか、データを送信できない場合は消灯します。● データ LED ランプ - 緑色のデータ LED ランプは、デバイスがジョブの処理中に一時停止すると点灯します。処理できるジョブがない場合は消灯します。データの送信中は点滅します。● 注意 LED ランプ - 赤色の注意 LED ランプが点灯している場合は、デバイスに重大なエラーが発生しています。点滅している場合は、注意が必要なエラーが発生しています。消灯している場合は、デバイスは正常に動作しています。● スリープ LED ランプ - 緑色のスリープ LED ランプが点灯している場合は、デバイスはスリープモードになっています。[スリープ] ボタンを押すか、デバイスのタッチスクリーンをタッチして、スリープモードを終了します。 <p>これらの LED ランプの場所については、12 ページの「コントロールパネルのレイアウト」を参照してください。</p>
コントロールパネルのメッセージ	問題が発生すると、メッセージがコントロールパネルに表示されます。メッセージと推奨する対処方法については、 73 ページの「コントロールパネルのメッセージの解除」 を参照してください。
イベント ログ	イベント ログは、デジタル送信機が使用するための記録です。ログには、問題の解決に役立つメッセージ (情報、警告、エラー) が含まれます。 29 ページの「[トラブルシューティング] メニュー」 を参照してください。
HP Web Jetadmin ソフトウェア	このツールを使用して、デジタル送信機を監視し、トラブルシューティングできます。詳細については、 58 ページの「HP Web Jetadmin ソフトウェアの使用」 を参照してください。詳細については、HP Web Jetadmin ソフトウェア オンラインヘルプの診断とトラブルシューティングのトピックを参照してください。
内蔵 Web サーバー (EWS)	EWS を使用すると、デジタル送信機のステータス情報の表示、ADF 保守キットの残り寿命の確認、内部ページの表示および印刷、デジタル送信機イベントの通知の受信、ネットワーク設定の表示および変更ができます。詳細については、デバイス CD の Web サーバー ガイドを参照してください。
HP MFP DSS 設定ユーティリティまたは Windows イベント ログ エラー メッセージ	HP DSS ソフトウェアでエラーが発生すると、HP MFP DSS 設定ユーティリティまたは Windows イベント ログにエラーメッセージが表示されます。これらのエラーメッセージについては、DSS サポート ガイドを参照してください。

コントロールパネルのメッセージ

コントロールパネルのメッセージのタイプ

コントロールパネルに表示される4種類のメッセージによって、デバイスのステータスや問題が示されます。

メッセージの種類	説明
ステータス メッセージ	ステータス メッセージはデバイスの現在のステータスを表します。デバイスが正常に動作していて、メッセージをクリアする操作が必要ないことを示しています。デバイスの状態が変化すると、メッセージも変化します。デバイスの準備が整い、ビジー状態でなく、保留中の警告メッセージがない場合、デバイスがオンラインのときには常にステータス メッセージ 準備完了 が表示されます。
警告メッセージ	警告メッセージはデータ エラーとスキャン エラーを示します。これらのメッセージは通常、 準備完了 またはステータス メッセージと交互に表示され、 [OK] を選択するまで表示されたままになります。一部の警告メッセージはクリアすることができます。 クリア可能な警告 が ジョブ に設定されている (デバイスの [デバイス動作] メニュー) 場合は、次のジョブによってメッセージがクリアされます。
エラー メッセージ	エラー メッセージは、紙詰まりの解消など、何らかの措置が必要なことを知らせます。 一部のエラー メッセージの場合は自動続行可能です。メニューで 自動継続 が設定されている場合は、自動継続のエラー メッセージが 10 秒間表示された後で、プリンタが通常の動作を続行します。  注記: 自動継続のエラー メッセージが 10 秒間表示されている間にいずれかのボタンを押すと、自動継続機能が無効になり、そのボタンの機能が優先されます。たとえば、 [停止] ボタンを押すと、スキャンが一時停止し、ジョブをキャンセルするためのオプションが表示されます。
重大なエラー メッセージ	重大なエラー メッセージはデバイスのエラーを示します。一部の重大なエラー メッセージは、デバイスの電源を切って再度電源を入れることでクリアできます。これらのメッセージには、 自動継続 設定は影響しません。重大なエラーが解決しない場合は、修理が必要です。

コントロールパネルのメッセージの解除

表 6-1 コントロールパネルのメッセージ

コントロールパネルのメッセージ	説明	推奨操作
11.XX 内部クロック エラー 続けるには、 [OK] をタッチします	デバイスの実時間のクロックにエラーが発生しました。	デバイスの電源を切って、入れ直したときは、必ずコントロールパネルで日時を設定してください。 19 ページの「[時刻/スケジュールリング]メニュー」 を参照してください。 エラーが続くときは、フォーマッタの交換が必要な場合もあります。
30.1.YY スキャナ故障	スキャナでエラーが発生しました。	デバイスの電源をいったん切り入れ直します。 それでもこのメッセージが表示される場合は、正規の HP サービス プロバイダまたはサポート プロバイダにお問い合わせください (HP のサポートに関するパンフレットを参照するか、 www.hp.com/support/9250c をご覧ください)。
49.XXXXX エラー 継続するにはデバイスの電源をいったん切り入れ直します	重大なファームウェア エラーが発生しました。	デバイスの電源をいったん切り入れ直します。

表 6-1 コントロールパネルのメッセージ (続き)

コントロールパネルのメッセージ	説明	推奨操作
		それでもこのメッセージが表示される場合は、正規の HP サービス プロバイダまたはサポート プロバイダにお問い合わせください (HP のサポートに関するパンフレットを参照するか、 www.hp.com/support/9250c をご覧ください)。
54.XX エラー 継続するにはデバイスの電源をいったん切り入れ直します	一時的なエラーが発生しました。	デバイスの電源をいったん切り入れ直します。 それでもこのメッセージが表示される場合は、正規の HP サービス プロバイダまたはサポート プロバイダにお問い合わせください (HP のサポートに関するパンフレットを参照するか、 www.hp.com/support/9250c をご覧ください)。
57.X エラー 継続するにはデバイスの電源をいったん切り入れ直します	一時的なエラーが発生しました。	デバイスの電源をいったん切り入れ直します。 それでもこのメッセージが表示される場合は、正規の HP サービス プロバイダまたはサポート プロバイダにお問い合わせください (HP のサポートに関するパンフレットを参照するか、 www.hp.com/support/9250c をご覧ください)。
58.XX エラー 継続するにはデバイスの電源をいったん切り入れ直します	一時的なエラーが発生しました。	デバイスの電源をいったん切り入れ直します。 それでもこのメッセージが表示される場合は、正規の HP サービス プロバイダまたはサポート プロバイダにお問い合わせください (HP のサポートに関するパンフレットを参照するか、 www.hp.com/support/9250c をご覧ください)。
59.XY エラー 継続するにはデバイスの電源をいったん切り入れ直します	一時的なエラーが発生しました。	デバイスの電源をいったん切り入れ直します。 それでもこのメッセージが表示される場合は、正規の HP サービス プロバイダまたはサポート プロバイダにお問い合わせください (HP のサポートに関するパンフレットを参照するか、 www.hp.com/support/9250c をご覧ください)。
79.XXXX エラー 継続するにはデバイスの電源をいったん切り入れ直します	重大なハードウェア エラーが発生しました。	デバイスの電源をいったん切り入れ直します。 それでもこのメッセージが表示される場合は、正規の HP サービス プロバイダまたはサポート プロバイダにお問い合わせください (HP のサポートに関するパンフレットを参照するか、 www.hp.com/support/9250c をご覧ください)。

表 6-1 コントロールパネルのメッセージ (続き)

コントロールパネルのメッセージ	説明	推奨操作
8X.YYYY EIO エラー 継続するにはデバイスの電源をいったん切り入れ直します	EIO アクセサリに YYYY で示された重大なエラーが発生しました。	エラーメッセージを消去するには、次の操作を試します。 1. デバイスの電源をいったん切り入れ直します。 2. デバイスの電源をいったん切り、EIO アクセサリを再インストールし、電源を入れ直します。 3. EIO アクセサリを交換します。
8X.YYYY 内蔵 JETDIRECT エラー 継続するにはデバイスの電源をいったん切り入れ直します	内蔵 HP Jetdirect プリント サーバーに YYYY で示された重大なエラーが発生しました。	デバイスの電源をいったん切り入れ直します。 それでもこのメッセージが表示される場合は、正規の HP サービス プロバイダまたはサポート プロバイダにお問い合わせください (HP のサポートに関するパンフレットを参照するか、 www.hp.com/support/9250c をご覧ください)。
HP デジタル送信：配信エラー	デジタル送信ジョブは失敗しました。配信できません。	ジョブを再送信してください。
LDAP サーバーが応答していません。管理者に問い合わせてください。	LDAP サーバーはアドレス リクエストのタイムアウト値を過ぎました。	LDAP サーバー アドレスを確認します。 80 ページの「電子メールに関する問題の解決」 を参照してください。ネットワーク管理者に問い合わせてください。
Novell のログインが必要です	この排紙先には、Novell の認証が設定されています。	コピー機能やファックス機能にアクセスするには、Novell ネットワークの認証情報を入力します。
SMTP ゲートウェイが応答していません	SMTP ゲートウェイがタイムアウト値を過ぎました。	電子メール サーバー アドレスを確認します。 80 ページの「電子メールに関する問題の解決」 を参照してください。ネットワーク管理者に問い合わせてください。
アクセスできません メニューがロック状態	使用しようとしたコントロール パネル機能は、不正アクセスを防ぐためにロックされました。	ネットワーク管理者に問い合わせてください。
ガラス面をチェックして用紙を取り除きます 続けるには、[スタート]を押します	デジタル送信ジョブまたはコピー ジョブがスキャナのガラス面から実行されましたが、原稿を取り除く必要があります。	スキャナのガラス面から原稿を取り除き、 [スタート] を押します。
この機能を使用するには認証が必要	ユーザー名とパスワードが必要です。	ユーザー名とパスワードを入力するか、ネットワーク管理者にご連絡ください。
スキャン障害 [スタート] を押すと再スキャンされます	スキャンが正常に実行されなかったため、文書をもう一度スキャンする必要があります。	必要に応じて、文書の位置をずらして再スキャンし、 [スタート] を押します。
デジタル送信にはネットワーク接続が必要です。管理者に問い合わせてください。	デジタル送信機能が設定されていますが、ネットワーク接続が検出されません。	ネットワークの接続を確認してください。ネットワーク管理者にお問い合わせください。
デジタル送信の通信エラー	デジタル送信タスク中にエラーが発生しました。	ネットワーク管理者に問い合わせてください。
パスワードまたはユーザー名が正しくありません。正しいログイン情報を入力してください。	ユーザー名またはパスワードが正しく入力されませんでした。	ユーザー名とパスワードを入力し直してください。
ファックスを送信できません。ファックスの設定を確認します。	ファックス ジョブを送信できません。	ネットワーク管理者に問い合わせてください。

表 6-1 コントロールパネルのメッセージ (続き)

コントロールパネルのメッセージ	説明	推奨操作
フォルダ リストが一杯です。フォルダを追加するには、まずフォルダを削除します。	作成できるフォルダ数の制限に達しました。	使用していないフォルダを削除して新規フォルダを追加します。
フラットベッド カバーが開いています	デバイスのスキャナ カバーが開いています。	スキャナ カバーを閉じてください。
ユーザー名またはパスワードが正しくありません。もう一度入力してください。	ユーザー名またはパスワードが正しく入力されませんでした。	ユーザー名とパスワードを入力し直してください。
初期化中はフラットベッド カバーを閉じてください	スキャナ カバーが開いていると、スキャナを初期化できません。	スキャナ カバーを閉じます。
接続できません	ネットワーク接続が検出されません。	ネットワーク接続を確認します。ネットワーク管理者に問い合わせてください。
送信できません	ネットワーク接続が検出されません。	ネットワーク接続を確認します。ネットワーク管理者に問い合わせてください。
入力したフォルダは有効なフォルダではありません。	フォルダ名の入力を間違ったか、フォルダが存在しません。	フォルダ名を正しく入力し直すか、フォルダを追加します。
認証が必要	この機能または排紙先には認証が設定されています。ユーザー名とパスワードが必要です。	ユーザー名とパスワードを入力するか、ネットワーク管理者にご連絡ください。
表面の光学システム エラー	スキャナにエラーが発生しました。	ファックスまたは電子メールを送信できるようにメッセージを一時的にクリアするには、 [非表示] をタッチします。それでもこのメッセージが表示される場合は、正規の HP サービス プロバイダまたはサポート プロバイダにお問い合わせください HP のサポートに関するパンフレットを参照するか、 www.hp.com/support/9250c をご覧ください。
文書フィーダ ビンが一杯です	文書フィーダ (ADF) 出力ビンが一杯です。	文書フィーダ (ADF) 出力ビンからすべての用紙を取り除いてください。
文書フィーダが空です	文書フィーダ (ADF) に用紙がセットされていません。	文書フィーダ (ADF) の給紙トレイに用紙をセットします。
文書フィーダのカバーが開いています	文書フィーダ (ADF) のカバーが開いています。	文書フィーダ (ADF) のカバーを閉じます。画面のダイアログ ボックスの指示に従って操作します。
文書フィーダのピック エラー	文書フィーダ (ADF) のメディアの取り込み中にエラーが発生しました。	原稿の枚数が 50 ページ未満であることを確認します。画面のダイアログ ボックスの指示に従って操作します。
文書フィーダの紙詰まり	文書フィーダ (ADF) で紙詰まりが発生しました。	画面上のダイアログ ボックスの指示に従ってください。79 ページの「 紙詰まりの解消 」を参照してください。
文書フィーダの紙詰まり	文書フィーダ (ADF) で紙詰まりが発生しました。	文書フィーダ (ADF) から詰まった用紙を取り除いてください。画面上のダイアログ ボックスの指示に従うか、79 ページの「 紙詰まりの解消 」を参照してください。 詰まったメディアをすべて取り除いてもメッセージが表示される場合は、センサが故障しているか破損している可能性があります。正規の HP サービス プロバイダまたはサポート プロバイダにお問い合わせください。HP のサポートに関するパンフレットを参照する

表 6-1 コントロールパネルのメッセージ (続き)

コントロールパネルのメッセージ	説明	推奨操作
		か、 www.hp.com/support/9250c をご覧ください。

紙詰まり

紙詰まりの防止

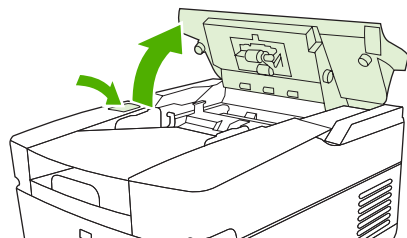
ADF の使用時には、次の情報を用いて紙詰まりを防ぎます。

- ADF に用紙をセットする場合は、用紙の束がまっすぐにセットされ、スキャンするページの幅に合わせて用紙ガイドが調整されていることを確認します。
- ADF に用紙を入れすぎないでください。ADF は、75 g/m² (20 lb) のボンド紙を 50 枚セットできるように設計されています。
- ADF を使用してスキャンする用紙に折り曲げた跡がある場合は、できる限り平らにします。用紙のしわや折り目をできる限り伸ばします。
- ADF を使用してスキャンする用紙がステイプラで留められていた場合は、ステイプラが付いていたページの角を扇状に広げて、それぞれのページを離さなければならないことがあります。ステイプラで開いた穴によって数枚のページが貼り付いている (ページが繋がっている) ことが頻繁にあります。
- スキャンするページに貼り付いているメモやラベルを取り除きます。用紙にラベルの粘着剤が多く残っている場合は、ADF から給紙する前に用紙の粘着剤を取り除かなければならないことがあります。
- 3 つ穴あき用紙、ワイヤコームやプラスチックコームを使用して綴られていた用紙、ミシン目のある用紙は、ADF からの給紙が困難な場合があります。
- スキャンするページの先頭部分が過度に摩耗していたり、ほつれていたりする場合は、スキャンする前に用紙を回転させてください。
- 用紙は、周りの環境に影響を受けます。動作環境の湿度が非常に低い場合は、用紙が乾燥し、静電気が発生することがあります。過度に乾燥した用紙は互いに貼り付きやすいので、ADF からの給紙が困難な場合があります。

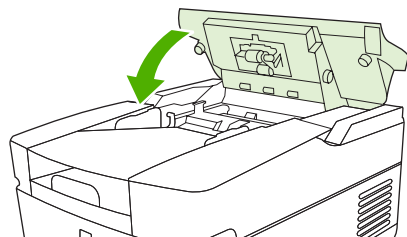
紙詰まりの解消

次の手順に従って、デジタル送信機の ADF の紙詰まりを解決します。

1. リリース ボタンを押して、ADF のカバーを開きます。



2. 周辺の詰まった用紙を取り除きます。
3. 破れた用紙の破片をすべて取り除いたことを確認します。
4. ADF カバーを閉じます。



電子メールに関する問題の解決

デジタル送信機能を使用して電子メールを送信できない場合は、SMTP ゲートウェイ アドレスまたは LDAP ゲートウェイ アドレスの再設定が必要な場合があります。設定ページを開き、現在の SMTP および LDAP ゲートウェイ アドレスを確認します。54 ページの「[\[情報ページ\]の使用](#)」を参照してください。次の手順に従って、SMTP および LDAP ゲートウェイ アドレスが有効であることを確認します。

電子メール サーバー (SMTP ゲートウェイ) アドレスの確認



注記： この手順は Windows オペレーティング システム用です。

1. MS-DOS コマンド プロンプトを開きます。**[スタート]** をクリックし、**[ファイル名を指定して実行]** をクリックし、「cmd」と入力します。
2. telnet に続けて SMTP ゲートウェイ アドレスを入力し、MFP が通信するポートである数値 25 を入力します。たとえば、「telnet 123.123.123.123 25」と入力します。この「123.123.123.123」は SMTP ゲートウェイ アドレスを示します。
3. **Enter** を押します。SMTP ゲートウェイ アドレスが有効ではない場合、「Could not open connection to the host on port 25: Connect Failed」(ポート 25 でホストへの接続を開くことができませんでした: 接続は失敗しました) というメッセージが応答に含まれます。
4. SMTP ゲートウェイ アドレスが有効ではない場合、ネットワーク管理者に問い合わせてください。

LDAP ゲートウェイ アドレスの検証



注記： この手順は Windows オペレーティング システム用です。

1. Windows エクスプローラを開きます。アドレス バーに LDAP:// に続けて LDAP ゲートウェイ アドレスを入力します。たとえば、LDAP://12.12.12.12 と入力します。この「12.12.12.12」は LDAP ゲートウェイ アドレスを示します。
2. **Enter** を押します。LDAP ゲートウェイ アドレスが有効な場合、**[Find People (ユーザー検索)]** ダイアログボックスが表示されます。
3. LDAP ゲートウェイ アドレスが有効ではない場合、ネットワーク管理者に問い合わせてください。

A サービスおよびサポート

Hewlett-Packard 社製品限定保証

HP 製品

限定保障期間

HP 9250C Digital Sender

1年間のオンサイト保証期間

HP は、エンドユーザーに対して、購入日から上記の期間中、HP ハードウェアとアクセサリに材料および製造上の瑕疵がないことを保証します。HP は、保証期間中にこのような不具合の通知を受けた場合は、自らの判断に基づき不具合があると証明された製品の修理または交換を行います。交換製品は新品か、または新品と同様の機能を有する製品のいずれかになります。

HP は、HP ソフトウェアを正しくインストールして使用した場合に、購入日から上記の期間中、材料および製造上の瑕疵が原因でプログラミング命令の実行が妨げられないことを保証します。HP は、保証期間中にこのような不具合の通知を受けた場合は、当該不具合によりプログラミング インストラクションが実行できないソフトウェアメディアの交換を行います。

HP は、HP の製品の動作が中断されないものであったり、エラーが皆無であることは保証しません。なお、HP が HP の製品を相当期間内に修理または交換できなかった場合、お客様は、当該製品を返却することで、当該製品の購入金額を HP に請求できます。

HP 製品には、新品と同等の性能を発揮する再生部品が無作為に使用されることがあります。

本保証は、以下に起因する不具合に対しては適用されません。(a)不適當または不完全な保守、校正に因るとき。(b) HP が供給しないソフトウェア、インターフェイス、または消耗品に因るとき。(c) HP が認めない改造または誤用に因るとき。(d) 表示した環境仕様の範囲外での動作に因るとき。(e) 据付場所の不備または保全の不適合に因るとき。

特定目的のための適合性や市場商品力についての暗黙の保証は、上記で明記された保証の保証期間に限定されます。一部の国/地域では、暗黙の保証の保証期間を制限できない場合があるため、上記の制限や責任の排除はお客様に適用されない場合があります。本保証は特定の法律上の権利をお客様に認めるものです。また、お客様は、その国/地域の法律によっては、他の権利も認められる場合があります。HP の限定保証は、HP が製品のサポートを提供し、かつ製品を販売している国/地域で有効です。お客様の受け取る保証サービスは、国/地域の標準規定によって異なる場合があります。HP は、法律または規制上の理由で製品を機能させる意図のなかった国/地域で動作するように製品の形態、整合性、または機能を変更しません。

現地の法律で許容されている範囲内において、本保証書の責任が、HP の唯一で排他的な責任です。現地の法律で許容されている範囲内において、契約あるいは法律に基づくか否かにかかわらず、いかなる場合であっても、直接的損害、特殊な損害、偶発的損害、結果的損害 (利益の逸失やデータの消失を含む) その他の損害に対して、HP およびそのサプライヤーは一切責任を負いません。一部の国/地域では、付帯的または結果的な損害の排除や制限を認めない場合があります、上記の制限や排除はお客様に適用されない場合があります。

ここに含まれている保証条項は、法律により許される範囲を除いて、本製品の販売に適用されるお客様の必須の法的権利を除外、制限、変更するものではなく、それらの権利に追加されるものです。

カスタマ自己修理の保証サービス

HP 製品には多くのカスタマ自己修理 (CSR) 部品が使用されているため、修理時間が最小限に抑えられ、欠陥部品の交換にも柔軟に対応できます。診断期間中に、CSR 部品を使用した修理が可能であると HP が判断した場合は、HP からお客様に直接その交換部品が発送されます。CSR 部品は、次の 2 つのカテゴリに分類されます。1) お客様ご自身が修理する義務のある部品。これらの部品交換を HP に依頼した場合は、このサービスに対する交通費および人件費はお客様が負担するものとします。2) お客様による修理がオプションである部品。これらの部品もカスタマ自己修理に含まれています。ただし、HP に交換を依頼しても、製品に指定されている保証サービスによっては、その一部とみなされ、無料で行われます。

部品の在庫状況および配達地域により、CSR 部品は翌営業日に届くように発送されます。配達地域によっては、当日配達または 4 時間以内の配達を指定できる場合がありますが、当日または 4 時間以内の配達には追加料金がかかります。サポートが必要な場合は、HP テクニカル サポート センターに電話でお問い合わせください。技術者がお客様の質問にお答えします。交換用の CSR 部品に同梱の資料には、欠陥部品を HP に返却いただく必要があるかどうか指定されています。欠陥部品を HP に返却いただく必要がある場合は、定められた期間内 (通常、5 営業日以内) に欠陥部品を HP に発送しなければなりません。欠陥部品は、提供された梱包物に付属する文書とともに返却する必要があります。欠陥部品を返却されない場合は、交換部品の代金が HP から請求されます。カスタマ自己修理を利用した場合は、送料と部品返却料を HP が全額負担し、使用する宅配業者/運送業者は HP が決めるものとします。

Hewlett-Packard ソフトウェア限定保証事項

HP 製品	保証期間
HP MFP DIGITAL SENDING SOFTWARE v. 4	90 日

1. HP は、HP ソフトウェア製品が購入後 90 日以内に、正しくインストールされ、使用されたにも関わらず、材料や製造上の欠陥によりプログラム命令を実行できない場合に、保証を行います。保証期間内に欠陥の通知を受けた場合、HP は該当する欠陥によりプログラム命令を実行できないソフトウェア製品メディアの交換に応じます。
2. HP 製品の動作が中断しない、またはエラーがないことを保証するものではありません。HP が適正な期間内にソフトウェア製品を交換し、保証に記載されている状態に復元できない場合、お客様への代金の払い戻しのため、ソフトウェア製品をアンインストールして、HP に返送するよう要請する場合があります。
3. 特定の目的に対する商品性または適性への暗黙保証は、上記に明示された期間に限定されます。一部の州または地域では、暗黙保証期間を制限することが許可されていないため、上記の制限または除外が適用されない場合があります。この保証は特定の法的権利を与えるものであり、州または地域によっては、その他の権利もお客様に与えられる場合があります。
4. 本保証書に記載されている救済方法はお客様にとっては唯一の排他的な救済方法となります。上記の場合を除き、HP は、直接的、例外的、付随的、間接的 (利益損失を含む)、またはその他の損害に対し、それが契約、不法行為、またはその他のいずれに基づくものであっても、一切の責任を負いません。一部の州または地域では、付随的または間接的損害を除外または制限することが許可されていないため、上記の制限または除外が適用されない場合があります。

注記：この製品および付属するソフトウェアについての限定保証は、この製品に同梱されている製品マニュアルに記載されています。この機会にご確認ください。

注意：本ソフトウェアの使用は、下記に規定する HP ソフトウェア ライセンス条項に従います。本ソフトウェアを使用すると、これらのライセンス条項に同意したことになります。本ライセンス条項に同意しない場合は、ソフトウェアを返品し、代金の全額払い戻しを受ける必要があります。ソフトウェアが別の製品と共に提供されている場合は、未使用の全製品を返品し、代金全額の払い戻しを受けることができます。

サポートおよびサービスの利用

世界各国において、HP はご購入製品に対するさまざまなサービスおよびサポート オプションをご用意しています。ご利用いただけるプログラムは、お住まいの地域によって異なります。

HP 保守契約

HP は幅広いサポートのニーズにお応えできる数種類の保守契約をご用意しています。保守契約は標準保証には含まれていません。サポートサービスはお住まいの地域によって内容が異なります。お住まいの地域でご利用が可能なサービスおよび保守契約の詳細は、HP カスタマ ケアへお問い合わせください。一般に、デジタル送信機には以下の保守契約が用意されています。

翌日オンサイト サービス

本契約では、サービスが要求された日の翌労働日にサポートが提供されることになっています。適用時間の拡張および HP が指定するサービス ゾーンを越えた出張は、大部分のオンサイト契約 (追加料金) で可能です。

B 仕様

- 物理的仕様
- 電氣的仕様
- 消費電力仕様
- 環境条件
- アコースティック エミッション

物理的仕様

表 B-1 物理的仕様 (キーボード拡張なし)

高さ	奥行き	幅	重量
340.26mm (0.34m)	571.82mm (0.57m)	452.62mm (0.45m)	23.09kg (50lbs)

電氣的仕様

表 B-2 電氣的仕様

電源仕様	100-240V (±10%) 50/60 Hz (±2 Hz)
推奨最小回線容量	1.0A



警告！ 電源仕様は装置が販売されている国/地域に基づきます。動作電圧を変更しないでください。電圧を変更するとデジタル送信機が損傷を受け、保証が無効となります。

消費電力仕様

表 B-3 消費電力 (平均値、単位は W)¹

スキャン (55ipm) ²	準備完了	スリープ	オフ
98W	35W	15.7W	0W

¹ 数値は変更される場合があります。最新情報については、www.hp.com/support/9250c を参照してください。

² 示されている電圧はすべての標準電圧を使用して計測したカラーおよびモノクロ スキャンの最高値です。

³ 準備完了モードからスリープまでのデフォルト設定の時間は 60 分です。

⁴ 準備完了モードでの放熱量は、123BTU/時です。

環境条件

表 B-4 環境条件¹

	推奨	動作	保存
温度	20° ~ 27° C (68° ~ 81° F)	0° ~ 40° C (32° ~ 104° F)	-30° ~ 60° C (-22° ~ 140° F)
相対湿度	15% ~ 80%	15% ~ 80%	15% ~ 85%

¹ 数値は変更される場合があります。最新情報については、www.hp.com/support/9250c を参照してください。



注意： 動作環境は安定している必要があり、温度または湿度を急激に変更すると装置が損傷することがあります。寒い環境から暖かい環境へ装置を移動した場合は、2時間が経過してから使用してください。

アコースティック エミッション

表 B-5 アコースティック エミッション

音量レベル	ISO 9296 準拠 ¹
スキャン ²	$L_{WA_d} = 6.8\text{Bel (A)}$ [68dB (A)]
準備完了	$L_{WA_d} = 4.9\text{Bel (A)}$ [49dB (A)]
音圧レベル - パイスタンダ位置	ISO 9296 準拠 ¹
スキャン ²	$L_{pAm} = 53\text{dB (A)}$
準備完了	$L_{pAm} = 35\text{dB (A)}$

¹ 数値は変更される場合があります。最新情報については、www.hp.com/support/9250c を参照してください。

² テスト構成：単純モノクロ スキャン、ADF (55ppm) およびレター ペーパー使用

C 規制に関する情報

- [FCC 規格](#)
- [環境配慮型製品管理プログラム](#)
- [適合宣言](#)
- [国/地域に特有の安全条項](#)

FCC 規格

本装置をテストした結果、Class B デジタル デバイスの基準に達し、FCC 規則の Part 15 に準拠していることが確認されました。これらの基準は、居住空間に装置を設置した場合の受信障害に対するしるべき防止策を提供することを目的としています。本装置は、無線周波エネルギーを発生、使用し、放射する可能性があります。指示に従って本装置を設置し使用していない場合、無線通信に支障をきたす場合があります。しかし、特定の設置条件で障害が発生しないことを保証するものではありません。本装置の電源の投入時および切断時に、ラジオやテレビの電波受信に支障がある場合、次の処置の 1 つまたは複数を試すことをお勧めします。

- 受信アンテナの向きを変えるか、または設置場所を変える
- 装置と受信機の距離を広げる
- 受信機が接続されている電気回路とは別の回路上のコンセントに本装置を接続する
- 本装置の販売店、またはラジオ/テレビの専門技術者に相談する



注記： HP によって明確に認められていない変更または改造を本体に対して行った場合、本装置を使用する権限が無効となることがあります。

FCC 規則の Part 15 の Class B 基準に準拠するには、シールド付きインターフェイス ケーブルを使用してください。

環境配慮型製品管理プログラム

環境の保護

Hewlett-Packard 社は環境保全を考慮した上で、高品質の製品をお届けしています。この製品は、いくつかの点で環境への影響を最小限に抑えるように設計されています。

オゾン放出

この製品はオゾン ガス (O₃) をほとんど発生しません。

消費電力

スリープ モードでは電力消費量がかなり低下します。このモードでは天然資源を節約し、コストを削減しますが、この製品の高いパフォーマンスには影響を与えません。

プラスチック

25g を超えるプラスチック部品には、国際規格に基づく材料識別マークが付いているため、プリンタを処分する際にプラスチックを正しく識別することができます。

材料の制限

この HP 製品では水銀は使用されていません。

この HP 製品には電池が使用されているため、回収時に特別な取扱いが必要になる場合があります。この製品に Hewlett-Packard が使用している電池を以下に示します。

HP 9250C Digital Sender デバイス	
タイプ	フッ化黒鉛リチウム電池 BR1632
重量	1.5g
実装位置	フォーマッタ ボード
ユーザーによる取り外し	不可

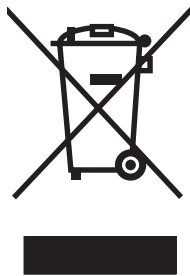




廃電池請回収

リサイクル情報については、www.hp.com/recycle にアクセスするか、最寄りの代理店または米国電子工業会 (www.eiae.org) にお問い合わせください。

EU (欧州連合) が定める一般家庭の使用済み機器の廃棄



製品または製品のパッケージにこのマークが付いている場合、この製品を家庭廃棄物と一緒に捨てることは禁止されています。使用済み機器の廃棄は消費者が責任を負うものとし、電気・電子機器廃棄物のリサイクルを行うための指定された回収拠点に持って行く必要があります。使用済み機器の廃棄に分別収集およびリサイクルを実行することより、天然資源を保護し、人間の健康と環境を守るリサイクルを実現します。使用済み機器のリサイクルを行う回収拠点については、居住地区の市役所、家庭廃棄物の収集業者、または製品を購入した販売店にお問い合わせください。

化学物質安全データシート (MSDS)

トナーなどの化学物質を含んでいるサプライ品の化学物質安全データシート (MSDS) については、HP の Web サイト www.hp.com/go/msds または www.hp.com/hpinfo/community/environment/productinfo/safety にアクセスしてください。

詳細について

これらの環境に関するトピック

- この製品やこの製品に関連する多くの HP 製品についての製品環境プロフィール
- HP 社の環境への貢献
- HP 社の環境管理システム
- HP 社の製品回収およびリサイクル プログラム
- 化学物質安全データシート (MSDS)

www.hp.com/go/environment または www.hp.com/hpinfo/globalcitizenship/environment にアクセスしてください。

適合宣言

適合宣言

ISO/IEC ガイド 22 および EN 45014 準拠

製造元 : Hewlett-Packard Singapore Pte Ltd
製造元住所 : Imaging and Printing Manufacturing Operations,
60 Alexandra Terrace, #07-01, The Comtech, Singapore, 118502

本製品は、以下の仕様に適合します。

製品名 : HP Digital Sender 9250C
規制モデル³⁾: BOISB-0401-00
製品オプション : すべて

以下の製品仕様に適合します。

安全性 : IEC 60950-1:2001 / EN60950-1: 2001
IEC 60825-1:1994 + A1:2002 + A2:2001 / EN 60825-1:1994 + A1:2002 + A2:2001 (クラス 1 レーザー/LED 製品)
GB4943-2001

EMC: CISPR 22:1997 / EN 55022:1998 クラス B¹⁾
EN 61000-3-2:2000
EN 61000-3-3:1995 + A1
EN 55024:1998 +A1 + A2
FCC Title 47 CFR, Part 15 Class B²⁾, ICES-003, Issue 4
GB9254-1998, GB17625.1-1998

補足情報 :

本製品は、EMC 指令 89/336/EEC および低電圧指令 73/23/EEC の条件を満たしており、当該指令で規定されている CE マークを貼付しています。

1) 本製品は、Hewlett-Packard のパーソナル コンピュータ システムの標準的な構成でテスト済みです。

2) 本装置は FCC 規則の Part 15 に準拠しています。動作は以下の 2 つの条件を前提とします。(1) 本装置は障害を発生せず、(2) 本装置が好ましくない動作を引き起こすなどの障害を受けていること。

3) 規制上の理由により、本製品には規制のモデル番号が割り当てられています。この番号を、製品名や製品番号と混同しないでください。

, , Singapore

2006 年 7 月 27 日

規制のみに関するお問い合わせ先 :

オーストラリア連絡 Product Regulations Manager, Hewlett-Packard Australia Ltd.,, 31-41 Joseph Street, Blackburn, Victoria 3130, Australia
先 :

欧州連絡先 : お近くの Hewlett-Packard セールス/サービス オフィスまたは Hewlett-Packard GmbH, Department HQ-TRE / Standards
Europe, Herrenberger Strasse 140, , D-71034, Böblingen, (ファックス : +49-7031-14-3143)

米国連絡先 : Product Regulations Manager, Hewlett-Packard Company,, PO Box 15, Mail Stop 160, Boise, Idaho 83707-0015, , (電
話 : 208-396-6000)

国/地域に特有の安全条項

Canadian DOC regulations (カナダ DOC 規格)

Complies with Canadian EMC Class B requirements.

« Conforme à la classe B des normes canadiennes de compatibilité électromagnétiques. « CEM ». »

VCCI 規格 (日本)

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

EMI 規格 (韓国)

B급 기기 (가정용 정보통신기기)

이 기기는 가정용으로 전자파적합등록을 한 기기로서
주거지역에서는 물론 모든 지역에서 사용할 수 있습니다.

索引

A

- ADF
 - エラーメッセージ 76
 - 紙詰まり、防止 78
 - セット 39
 - 速度 4
 - 場所 8
 - 保守キット、交換 60
 - マイラーシート、交換 60
 - 用紙仕様 7

C

- Canadian DOC regulations (カナダ DOC 規格) 96

E

- EIO カード
 - エラー 75
- EU (欧州連合)、廃棄物処理 94

F

- FTP、送信 50
- FTP
 - ファームウェアの更新 66

H

- HP Jetdirect Inside 3
- HP Jetdirect プリント サーバー
 - エラーメッセージ 75
 - 構成 35
 - 設定 21
- HP Jetdirect ファームウェアのアップグレード 69
- HP Web Jetadmin 58, 68

I

- I/O 設定
 - 設定 21
 - ネットワークの設定 33

- IP アドレス
 - サーバーの設定 43

J

- Jetadmin、HP Web 58, 68
- Jetdirect Inside 3
- Jetdirect プリント サーバー
 - エラーメッセージ 75
 - 構成 35
 - 設定 21
- Jetdirect ファームウェアのアップグレード 69

L

- LAN ファックス 51
- LDAP サーバー
 - エラーメッセージ 75
 - ゲートウェイアドレスの確認 80
 - 接続 43
- デジタル送信
 - ゲートウェイアドレスの確認 80
- LED、コントロールパネル
 - トラブルシューティング 72

N

- Novell NetWare サポート 32
- Novell のログインが必要です 75

S

- SMTP ゲートウェイ
 - エラーメッセージ 75
- SMTP サーバー
 - ゲートウェイ、検出 44
 - ゲートウェイアドレスの確認 80
 - 接続 43
 - 設定 43

- SMTP サーバ
 - ゲートウェイアドレスの設定 43
 - ゲートウェイの検索 44
 - テスト 44

T

- TCP/IP 設定 21

W

- Web Jetadmin 68
- Web サイト
 - HP Web Jetadmin、ダウンロード 58
 - 化学物質安全データシート (MSDS) 94
- Web サイト
 - ファームウェア、ダウンロード 66
- Windows 2000 ファックス 51

あ

- アクセス拒否メッセージ 75
- アコースティック エミッション 89
- アドレス帳、電子メール
 - LDAP サーバー エラー 75
 - LDAP のサポート 43
 - 削除、アドレス 47
 - 受信者リスト、作成 46
 - 消去 29
 - 追加、アドレス 47
- アドレス帳、電子メール
 - 自動入力機能 46
 - 受信者リスト 46

い

- [印字可] ランプ
 - 場所 12

- インターネット ファックス 51
- インターフェイス ポート 8
- え**
- [エラー] ボタン、コントロールパネルのタッチスクリーン 14
- エラー メッセージ
 - アルファベット順のリスト 73
 - 数値リスト 73
 - タイプ 73
- お**
- オペレーティング システム要件 6
- 表面の光学システム エラー 76
- オン/オフ スイッチ 8
- オンサイト サービス 85
- 温度条件 89
- オンライン ヘルプ、コントロールパネル 14
- か**
- ガラス面
 - スキャン 38
- 化学物質安全データシート (MSDS) 94
- 拡張保証 85
- カスタマ サポート
 - 内蔵 Web サーバーのリンク 57
- 紙詰まり
 - 防止 78
 - リリース ボタン、場所 8
- 環境条件 89
- 韓国 EMI 規格 96
- 管理者特権 2
- [管理] メニュー 20
- [管理] メニュー、コントロールパネル 15
- き**
- キー、コントロールパネル
 - タッチスクリーン 13
 - 場所 12
- 規制に関する条項
 - 適合宣言 95
- 機能 3
- く**
- クリーニング
 - 外装 62
- クロック
 - エラー メッセージ 73
- け**
- ゲートウェイ アドレスの確認 80
- ゲートウェイ
 - アドレスの確認 80
 - 検出 44
 - 設定 43
- LDAP サーバ
 - ゲートウェイ サーバの検証 80
- ゲートウェイ アドレスの検証 80
- ネットワーク
 - ゲートウェイ アドレスの検証 80
- 問題解決
 - ゲートウェイ アドレス 80
- ゲートウェイ
 - 検索 44
 - 設定 43
 - テスト 44
- スキャン、電子メール
 - ゲートウェイ アドレスの検証 80
- [警告] ボタン、コントロールパネルのタッチスクリーン 14
- 契約、保守 85
- こ**
- 交換
 - ADF 保守キット 60
 - マイラー シート 60
- 校正、スキャナ 70
- コピー
 - ADF、セット 39
- コントロールパネル
 - locating 8
 - アクセス拒否 75
 - [管理] メニュー 20
 - [時刻/スケジュールリング] メニュー 19
 - [情報] メニュー 15
 - [初期セットアップ] メニュー 21
 - セキュリティ 59
- [送信設定] メニュー 27
- タッチスクリーンのボタン 13
- [電子メール セットアップ] メニュー 27
- ヘルプ 14
- ボタン 12
- [ホーム] 画面 13
- メッセージ、アルファベット順のリスト 73
- メッセージ、数値リスト 73
- メッセージ、タイプ 73
- ランプ 12
- [リセット] メニュー 29
- コントロールパネル
 - [管理] メニュー 15
 - [サービス] メニュー 30
 - 電子メール画面 45
- さ**
- 材料の制限 93
- サービス契約 85
- サブネット マスク 34
- サブライム
 - ステータス、内蔵 Web サーバーによる表示 55
 - 内蔵 Web サーバー経由での注文 57
 - [リセット] メニュー 29
- サポート
 - 内蔵 Web サーバーのリンク 57
- [サービス] メニュー、コントロールパネル 30
- し**
- 時間、設定 19
- 受信者リスト 46
- 条件
 - 環境 89
- 情報タブ、内蔵 Web サーバー 55
- 情報ページ 54
- [情報] メニュー 15
- システム要件 6
- 湿度条件 89
- 出カビン、ADF 8
- 使用状況ページ、表示 54
- 仕様
 - アコースティック エミッション 89

- 機能 3
- スペース要件 10
- 速度 4
- デューティ サイクル 4
- 電氣的 88
- ネットワーク要件 6
- 物理的 88
- 用紙 7
- [初期セットアップ]メニュー 21
- シリアル番号、場所 8
- 診断
 - ネットワーク 24
- す**
- 水銀を含まない製品 93
- スキャナ エラー 76
- スキャナ 3
- スキャナのガラス面
 - スキャン 38
- スキャナの較正 29
- スキャナの校正 70
- スキャナ ヘッド ロック 8
- スキャン、電子メール
 - アドレス帳 47
 - エラー メッセージ 75, 76
- スキャン
 - ADF、セット 39
 - ジョブの設定 41
 - スキャナのガラス面を使用 38
- スキャン、電子メール
 - 文書の送信 46
- スキャン、電子メールへの
 - 受信者リスト 46
- スキャン、電子メール、
 - コントロール パネル設定 45
- 電子メール
 - ゲートウェイ アドレスの検証 80
- [スタート] ボタン、コントロール パネルのタッチスクリーン 14
- [スタート] ボタン 12
- ステータス
 - 内蔵 Web サーバー 55
 - [ホーム] 画面、コントロール パネル 13
 - メッセージ、タイプ 73
- [ステータス] ボタン 12
- スペース要件 10
- スリープ復帰時刻、設定 19
- [スリープ] ボタン 12

- スリープ モード
 - 設定 19, 20
- せ**
- セキュリティ
 - ソフトウェアへのアクセス 59
 - ロック、デバイス 59
- 設定タブ、内蔵 Web サーバ
 - ー 56
- 設定ページ
 - 情報メニュー 15
 - 表示 54
- セット
 - ADF 39
 - スキャナのガラス面 38
- そ**
- 送信、電子メール
 - アドレス帳 47
 - エラー メッセージ 75, 76
- [送信設定]メニュー 27
- 送信、電子メール
 - 受信者リスト 46
 - 設定 45
 - 文書の送信 46
- 速度仕様 4
- ソフトウェア
 - アクセス制限 59
 - 保証 83
- た**
- タイムアウト設定 21
- 耐用期間経過後の廃棄 93
- タッチ スクリーン
 - 清掃 62
- ち**
- [注意] ランプ
 - 場所 12
- 注文
 - 内蔵 Web サーバー経由でのサブライ品の注文 57
- て**
- ディスプレイ、コントロール パネル 12
- [データ] ランプ
 - 場所 12
- デジタル送信タブ、内蔵 Web サーバ
 - ー 56

- デジタル送信
 - コントロール パネル設定 45
 - 受信者リスト 46
 - 文書の送信 46
- デジタル送信
 - LDAP のサポート 43
 - SMTP のサポート 43
 - アドレス帳 46, 47
 - エラー メッセージ 75, 76
 - ゲートウェイ、検出 44
 - ゲートウェイ アドレスの確認 80
 - サーバーの設定 43
 - ジョブの設定 41
 - 設定メニュー 27
 - 電子メールの設定 43
 - 文書の送信 45
 - フォルダ 49
 - ワークフロー 50
- 送信、電子メール
 - ゲートウェイ アドレスの検証 80
- デジタル ファックス 51
- デフォルト設定
 - [リセット]メニュー 29
- デューティ サイクル 4
- 電圧仕様 88
- 電氣的仕様 88
- 電源仕様 88
- 電源スイッチ 8
- [電子メール セットアップ]メニュー
 - ー 27
- 電子メールのスキャン
 - ゲートウェイ アドレスの確認 80
- 電子メールへのスキャン
 - LDAP のサポート 43
 - SMTP のサポート 43
 - ゲートウェイ、検出 44
 - サーバーの設定 43
- 電子メールへの送信
 - LDAP のサポート 43
 - SMTP のサポート 43
 - アドレス帳 46
 - ゲートウェイ、検出 44
 - ゲートウェイ アドレスの確認 80
 - サーバーの設定 43
 - ジョブの設定 41

説明 43
文書の送信 45
電子メール用のスキャン
アドレス帳 46
設定 43
電子メール
LDAP エラー 75
LDAP のサポート 43
SMTP のサポート 43
アドレス帳 46, 47
エラー メッセージ 75, 76
ゲートウェイ、検出 44
ゲートウェイ アドレスの確
認 80
サーバーの設定 43
ジョブの設定 41
セキュリティ 59
設定 43
文書の送信 45
電子メール
コントロールパネル設定 45
自動入力機能 46
受信者リスト 46
文書の送信 46
[停止] ボタン、コントロールパ
ネル タッチスクリーン 14
[停止] ボタン 12
適合宣言 95
テクニカル サポート 85
テスト
ネットワーク 24

と

動作環境条件 89
特権、管理者 2
トラブルシューティング
エラー メッセージ、アルファベ
ット順リスト 73
紙詰まり 78
コントロールパネルのメッセー
ジ、数値 73
説明 72

な

内蔵 Web サーバー 55
内部クロック エラー 73

に

日本 VCCI 規格 96

ね

ネットワークタブ、内蔵 Web サー
バー 57
ネットワーク
HP Jetdirect Inside 3
HP Jetdirect プリント サーバー
のエラー メッセージ 75
IP アドレス 33
SMTP サーバー 43
TCP/IP 設定 21
TCP/IP パラメータ 33
管理者特権 2
ゲートウェイ アドレスの確
認 80
サブネット マスク 34
診断 24
設定 33
デフォルト ゲートウェイ 34
要件 6
リンク速度設定 26
ネットワーク フォルダ、スキャ
ン 49
ネットワーク
HP Web Jetadmin 58
SMTP ゲートウェイの検
索 44
SMTP 設定のテスト 44
ゲートウェイ アドレスの設
定 43

の

ノイズ仕様 89

は

パスワード 59
廃棄、耐用期間経過後 93

ひ

ビン、ADF 8
日付、設定 19

ふ

物理的仕様 10, 88
ファームウェア、アップグレー
ド 66
ファームウェアのアップグレー
ド 66
ファームウェアのダウンロー
ド 66
ファックス、デジタル 51

ファックス アクセサリ
ADF、セット 39
フォルダにスキャン 49
フォルダに送信 49
フォルダ
エラー メッセージ 76
送信 49
付属のバッテリー 93

へ

ページ/分 4
ヘルプ、コントロールパネル 14
[ヘルプ] ボタン、コントロールパ
ネルのタッチスクリーン 14

ほ

ポート 8
ボタン、コントロールパネル
タッチスクリーン 13
場所 12
[ホーム] 画面、コントロールパネ
ル 13
[ホーム] ボタン、コントロールパ
ネルのタッチスクリーン 13
保守キット、ADF
交換 60
保守契約 85
保証
カスタマ自己修理 82
製品 81
保証
拡張 85
ソフトウェア 83

ま

マイラー シート、交換 60

め

メッセージ
アルファベット順のリスト 73
数値リスト 73
タイプ 73
メディア仕様 7
メディア
紙詰まりリリース ボタン、場
所 8
[時刻/スケジューリング] メニュー、
コントロールパネル 19
メニュー、コントロールパネル
アクセス拒否 75

- 管理 20
 - 時刻/スケジュールリング 19
 - 情報 15
 - 初期セットアップ 21
 - 送信設定 27
 - 電子メールのセットアップ 27
 - リセット 29
 - メニュー、コントロール パネル
 - 管理 15
 - サービス 30
 - メモリ
 - 搭載された 3
- も**
- ゲートウェイ
 - アドレスの検証 80
 - 問題解決
 - [エラー] ボタン、コントロール
パネルのタッチスクリー
ン 14
 - ネットワーク 24
 - 問題の解決
 - ゲートウェイ アドレス 80
 - メッセージ、タイプ 73
- よ**
- 用紙仕様 7
 - 用紙
 - 紙詰まりリリース ボタン、場
所 8
 - 翌日オンサイト サービス 85
- ら**
- ランプ、コントロール パネル
 - トラブルシューティング 72
 - ランプ
 - コントロール パネル 12
- り**
- [リセット] ボタン 12
 - [リセット] メニュー、コントロー
ル パネル 29
 - リモート ファームウェア アップデ
ート (RFU) 66
 - リリース ボタン、紙詰まり 8
 - リンク速度設定 26
- ろ**
- ローラー、清掃 63
 - ログイン 41
- ロック、スキャナ 8
 - ロック、デバイス 59
- わ**
- ワークフロー、送信 50
 - ワークフローへ送信 50
 - ワークフローへのスキャン 50

© 2007 Hewlett-Packard Development Company, L.P.

www.hp.com



CB472-90968